

2023(令和 5)年度
身体障害者補助犬育成促進事業等
実施実態調査結果

調査対象期間 2023年4月～2024年3月
調査表送付 2024年11月



特定非営利活動法人 日本補助犬情報センター

目 次

2023(R5)年度 補助犬育成促進事業実施実態調査結果(都道府県)	2
図1 盲導犬、介助犬・聴導犬 過去10年間にに関する希望相談の有無:都道府県(2013~2023年度)	35
図2 2023(R5)年度 補助犬育成促進事業 実施件数・助成額(都道府県別)	36
図3 2007年度~2023年度の補助犬育成促進事業実施件数	37
図4 2024年度の補助犬育成促進事業の実施予定(2013~2024年度)	38
表1 第二種社会福祉事業としての補助犬訓練事業届出 状況	39
表2 2023(R5)年度 補助犬育成促進事業 実施件数・助成額(都道府県別)	40
表3 2024年度 補助犬育成促進事業 実施予定件数・予定額(都道府県別)	41
表4 都道府県における補助犬育成促進事業の助成金交付先について	42
表5 都道府県の助成候補者の決定にかかる調査・評価委託事業について(都道府県、政令指定都市、中核市)	43
2023年度 補助犬の同伴受け入れ状況等に対する実態調査結果(政令市・中核市)	44
参考資料	75

注:この報告書で出している値は、四捨五入による計算の丸め誤差が存在するため、値の合計は100%にならないことがあります。

2023(令和5)年度 補助犬育成促進事業等実施実態調査結果

【調査票送付:47都道府県／回答総数:44道府県】

基本データ

1. 第二種社会福祉事業届出の増減

①2023年度中の新規届出について

2023年度中の新規届け出なし

②2023年度中の届出取り消し手続きについて

都道府県	事業者名	届出日
神奈川県	特定非営利活動法人聴導犬育成の会	2023(令和5)年5月26日

①育成促進事業

2. 都道府県における補助犬使用者数(2024年3月31日現在)

	いる	いない	不明	回答なし
盲導犬	98% (43)	0% (0)	0% (0)	2% (1)
介助犬	52% (23)	41% (18)	5% (2)	2% (1)
聴導犬	32% (14)	59% (26)	7% (3)	2% (1)

3. 2023年度中の補助犬の希望者について

	希望あり	希望なし	合計
盲導犬	80% (35)	20% (9)	44道府県
介助犬	16% (7)	84% (37)	44道府県
聴導犬	11% (5)	89% (39)	44道府県

	希望ありと回答した都道府県における希望者の件数				
	1件	2~3件	4~5件	6~8件	9件以上(最大の数)
盲導犬	14	14	4	1	2(11)
介助犬	6	1	0	0	0
聴導犬	3	2	0	0	0

4. 2023年度の補助犬育成促進事業の実施について

	実施あり	実施なし	合計
盲導犬	75% (33)	25% (11)	44道府県
介助犬	18% (8)	82% (36)	44道府県
聴導犬	11% (5)	89% (39)	44道府県

5.2024年度の補助犬育成促進事業の実施予定について

★補助犬の種類に限らずある:23%(10)

	ある	ない	未定
盲導犬	86% (32)	11% (4)	3% (1)
介助犬	15% (5)	82% (28)	3% (1)
聴導犬	12% (4)	82% (28)	6% (2)

*補助犬の種類に限らず「あり」と回答した自治体で、各補助犬種についても回答した自治体あり

6.補助犬育成促進事業の助成金交付先について

	希望者が選んだ 訓練事業者	指定する団体	委託する団体	回答なし	合計
盲導犬	75%(33)	5%(2)	16%(7)	5%(2)	44 道府県
介助犬	75%(33)	5%(2)	11%(5)	9%(4)	44 道府県
聴導犬	75%(33)	5%(2)	11%(5)	9%(4)	44 道府県

7.希望者の募集方法について

随时募集	一定の期間を定めて 募集	先着順	その他	回答無
52%(23)	32%(14)	2%(1)	9%(4)	5%(2)

*その他:貸与希望者は訓練事業者を通じて貸与希望申請となっている。／県内ユーザーに貸与決定した育成事業者に対する補助事業を行っているため、県は貸与候補者の募集・調査・選定は行っていない。(県内に1年以上居住していることなどの要件はある。)／補助犬希望者が訓練事業者に直接申し込む。／年度前に委託団体に補助犬ユーザーの見込みを調査。

8.「一定の期間を定めて募集」の結果、実施予定数に達しなかった場合の再募集について(対象数:14)

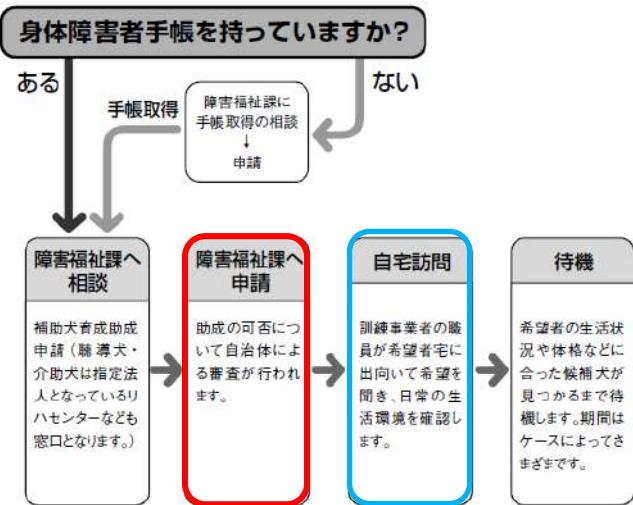
実施している	実施していない	状況により検討
36%(5)	7%(1)	57%(8)

②育成計画の作成

9.助成候補者の決定における調査と評価について

【参考】助成候補者決定における調査、評価について

以下、補助犬希望者の希望～合同訓練前までの流れです。



赤枠内が「調査」の部分です。

今回の設問では、補助犬希望者が障害福祉課へ申請した際、助成の可否について自治体による審査が行われる過程を「調査」としています。

青枠内が「評価」の部分です。

今回の設問では、自治体による審査(調査)を通過した補助犬希望者の日常の生活環境等を確認する過程を「評価」としています。

1)調査の実施と実施方法について

【実施】

実施している	実施していない
86%(38)	14%(6)

【方法】(対象:38)

都道府県主体	委託
84%(32)	16%(6)

以下、**調査を委託している場合のみ(対象数:6)**回答

・委託費用について、「身体障害者補助犬育成促進事業補助金」(地域生活支援事業)利用の有無

利用あり	利用なし	実績なし	回答無
33%(2)	50%(3)	0%(0)	17%(1)

・調査時の担当者立会いについて

立会いあり	立会いなし	回答無
17%(1)	67%(4)	17%(1)

・委託した調査の報告書提出について

提出を求めている	提出を求めていない	回答無
33%(2)	50%(3)	17%(1)

2)評価の実施と実施方法について

【実施】

実施している	実施していない	回答無
68%(30)	27%(12)	5%(2)

【方法】(対象:30)

都道府県主体	委託
37%(11)	63%(19)

以下、**評価を委託している場合のみ(対象数:19)**回答

・委託費用について、「身体障害者補助犬育成促進事業補助金」(地域生活支援事業)利用の有無

利用あり	利用なし	実績なし	回答無
37%(7)	37%(7)	0%(0)	26%(5)

・評価時の担当者立会いについて

立会いあり	立会いなし
5%(1)	95%(18)

・委託した評価の報告書提出について

提出を求めている	提出を求めていない
74%(14)	26%(5)

理解促進・普及啓発

10.補助犬法や補助犬に関する取り組み(助成施策、理解促進・啓発、身体障害者補助犬育成計画の作成等の実施や実施予定について。また、その取り組みに関する具体的な内容や、おおよその費用、「身体障害者補助犬育成促進事業」(地域生活支援事業)の補助金利用有無について。

【助成施策】:44 道府県

2023 年度:助成施策の実施	
実施あり	20%(9)
実施なし	80%(35)

2024 年度:助成施策の実施予定	
実施あり	20%(9)
実施なし	80%(35)

■補助犬の健康管理費(予防接種、医療費など)

都道府県	2023 年度	2024 年度	内容	課題	費用	補助金 利用
石川県	○	○	県内の補助犬ユーザー団体に基金を設立し、助成対象費用計の半額を対象に、1頭当たり年間 11,000 円を上限に助成する	特になし	181,414	×
福井県	○	○	身体障がい者補助犬の衛生管理に必要な処置を県獣医師会に委託		431,410	×
長野県	○	○	県動物愛護センターにおいて、補助犬の健康診断(身体検査、血液検査、糞便検査、尿検査、爪切り等)を無料で行っている。(ドッグドック事業)	センターの獣医師が県内各地のユーザーの自宅等まで訪問して実施しているため、検査検体の採材から検査まで最大で3時間かかり、検査結果に影響がある場合がある。また、移動経費や疾病の経過観察を考慮するとかかりつけ医への受診に補助金を支給する方が効果的かもしれない。	0	×

島根県	○	○	県内の補助犬使用者を対象に、4万円を上限として、補助犬の予防接種・医療費の助成を行う。	・助成に係る申請手続きの簡素化。 ・補助犬の飼代等飼育のために必要な経費へ対象経費を幅広に認めて欲しい。	一頭あたり 上限 4 万円	×
香川県	○	○	補助犬を使用する者に対して、厚生労働省が作成した「身体障害者補助犬の衛生確保のための健康管理ガイドライン」に定められているものを対象に、年間1回、1人につき 20,000 円を限度として助成する。	手続きの簡略化、予算確保	140,000	×

【理解促進】

2023 年度:理解促進事業の実施		2024 年度:理解促進事業の実施予定	
実施あり	27%(12)	実施予定あり	27%(12)
実施なし	73%(32)	実施予定なし	73%(32)

■市町村担当者向け

都道府県	2023 年度	2024 年度	内容	取り組みの効果	課題	費用(円)	補助金利用
愛知県	○	○	障害者(児)福祉担当職員新任研修において、介助犬に関する講義を実施。	新任の職員に補助犬について周知することができた。		236,000	○
愛知県	○	○	市町村障害保健福祉主管課長会議において、普及啓発を実施。	市町村担当者の理解が深まった。		0	×
大分県	○	○	国立障害者リハビリセンター等主催の研修会の案内	市町村担当者に対する補助犬への理解促進、普及	案内しても研修日数が長く参加に繋がりにくい	0	×

■受け入れ事業者向け

都道府県	2023年度	2024年度	内容	取り組みの効果	課題	費用	補助金利用
静岡県	○	○	講習会				○
大阪府	○	○	府内観光事業者に向けて、観光施設における心のバリアフリー認定(観光庁実施)取得のためのセミナーで補助犬について講演を実施。				×
福島県	○	○	補助犬についての理解促進を図るために、飲食店や宿泊施設等の業種ごとに、実際の店舗等を会場として、補助犬の役割やユーザーに対するサポート方法についての研修を実施する。昨年度は宿泊施設向けに1回、観光業向けに2回実施した。今年度は、民間企業、病院、飲食業向けにそれぞれ1回ずつ実施をしている。今後、スーパーの従業員を対象に実施を予定している。	今年度は飲食店をお借りし、盲導犬ユーザーの接客方法の実習を取り入れて行うことができ、より具体的なサポート方法について学んでいただく機会となった。	来年度以降はスーパーや飲食業組合など、関係機関にご協力をいただき、出前講座の形で研修を実施する等の工夫が必要である。	185,720	○

■一般市民向け

都道府県	2023年度	2024年度	内容	取り組みの効果	課題	費用	補助金利用
群馬県	○	○	ショッピングモールでのイベント	補助犬への理解促進			×
静岡県	○	○	講習会				○
大阪府	○	○	府内スーパーマーケット等で講演を実施。				×
奈良県	○	○	障害のある方に対する配慮に関する研修	障害理解に繋がった	県民への周知に関して、実施方法など課題		○
島根県	○	○	委託団体のイベント(イベント名:ららふえすた)において、補助犬ユーザーの団体が啓発ブースを出した。	一般市民への補助犬のかかわりについての周知。	啓発活動を継続的に行える機会とマンパワーが不足している。	0	×
広島県	○	○	実感を持って知つもらうために実際の補助犬ユーザーの感想や訓練士からの補助犬の説明等。広島県人権啓発イベントヒューマンフェスタでの貸与式・デモンストレーション・特設サイトでの動画配信。			40,000	×
広島県	○	○	実感を持って知つもらうために、あいサポート企業・団体への研修の中で補助犬ユーザーの講義を行った。			0	×
高知県	○	×	人権啓発フェスティバルで、盲導犬体験歩行を実施		一般市民は関心が薄い		×

■児童・生徒向け

都道府県	2023年度	2024年度	内容	取り組みの効果	課題	費用	補助金利用
静岡県	○	○	講習会				○
広島県	○	○	児童期から補助犬について知つてもうため、あいサポート団体である小学校への出前講座の中で補助犬について啓発をおこなった。			0	×
高知県	○	○	小学校の授業として、補助犬ユーザーによる日常生活の紹介とリーフレットの配布と説明	子供が興味を持つと、補助犬の知識習得だけではなく障害者理解に発展する	社会科見学、体験学習に障害者理解を取り入れてくれる学校は少ない	30,000	×
兵庫県	○	○	学校等への出前講座			158,000	○

■障害当事者向け

都道府県	2023年度	2024年度	内容	取り組みの効果	課題	費用	補助金利用
高知県	×	○	身体障害者団体の指導者を対象とした研修会で制度を説明		周囲に補助犬の利用者がいないため、関心が希薄のように感じる	50,000	×
高知県	○	○	視覚障害者を対象とした情報発信イベントで、盲導犬体験歩行を実施	興味を示す視覚障害者は必ずいて、利用を希望するきっかけになっている	体験歩行を試す方は少ない。補助犬に対する社会の受け入れ態勢が整っていないと感じる	140,000	×

【啓発活動】

2023 年度:啓発活動事業の実施		2024 年度:啓発活動事業の実施予定	
実施あり	82%(36)	実施あり	80%(35)
実施なし	18%(8)	実施なし	20%(9)

■補助犬啓発用のウェブサイト掲載

都道府県	2023 年度	2024 年度	内容	取り組みの効果	課題	費用	補助金利用
北海道	○	○	道のホームページ上にて補助犬の役割や受け入れ方等について掲載	補助犬について、広く道民へ周知することができた。		0	×
宮城県	○	○	県 HP に補助犬に関する情報を掲載	補助犬に関する理解促進		0	×
山形県	○	○	県 HP に補助犬に関する情報を掲載	補助犬に関する理解促進	HP にアクセスした人にしか情報が届かない。	0	×
群馬県	○	○	県のホームページに補助犬の概要や同伴の受け入れ義務及び、補助犬に関する相談窓口の案内を掲載	補助犬への理解促進			×
千葉県	○	○	県 HP に厚生労働省作成の動画の URL を掲載	補助犬の受け入れ義務等の周知につながった	より多くの人に情報を届ける必要がある。	0	×
東京都	○	○	都ホームページに補助犬の啓発に係る案内を掲載	補助犬に関する理解促進		0	×
神奈川県	○	○	県 HP に補助犬に係るページを掲載	補助犬と補助犬ユーザーへの正しい理解と協力		0	×
富山県	○	○	県ホームページ上に補助犬に関する情報及びリーフレット等のデータを掲載	補助犬に関する理解促進		0	×

石川県	○	○	障害の啓発イベント内に補助犬育成団体を招待し、普及啓発を行っている	補助犬に対する理解が深まり、ユーザーの社会参加を促進する	特になし	8,300,000	×
長野県	○	○	県のホームページに補助犬の概要や同伴の受入れ義務及び、補助犬に関する相談窓口の案内を掲載	補助犬に関する普及啓発		0	×
愛知県	○	○	県ホームページに補助犬の概要、相談窓口等を掲載。	県民の補助犬に関する理解促進。		0	×
広島県	○	○	HPへの啓発動画や貸与式の様子等の掲載			0	×
高知県	○	○	ホームページに補助犬の説明や関連リンク、問合せ先を掲載	補助犬に関する普及啓発			×

■厚生労働省リーフレット等の配布

都道府県	2023年度	2024年度	内容	取り組みの効果	課題	費用	補助金利用
北海道	○	○	各イベントを通じて、リーフレット等を配置。	補助犬について、広く道民へ周知することができた。		0	×
岩手県	○	○	庁舎内にポスターの掲示をしている。	県民の補助犬に関する理解促進及び普及啓発		0	×
宮城県	○	○	厚生労働省のリーフレット等を障害者支援団体、市町村、県の関係機関に送付。	県関係機関の職員等の身体障害者補助犬に対する認識の拡大。		0	×
秋田県	○	○	厚労省リーフレット等の配付			0	×
山形県	○	○	厚労省のほじょ犬ステッカーの配布	補助犬に関する理解促進、県民の意識向上	ステッカーを貼ってくれる店舗等が少なく、周知が進んでいない。また、ステッ	0	×

					カーを貼っている店舗等のみが受入可で、貼っていないところは受入れしていないという誤解がある。		
福島県	○	○	昨年度は県主催の「農業総合センターまつり」において、盲導犬 PR 犬によるデモンストレーションを行い、厚労省作成のリーフレットを配布した。今年度は3月にロータリークラブの主催によるイベントに参加し、盲導犬ユーザーの体験談の講演を行う予定である。	来場者に身体障害者補助犬法や盲導犬について周知する機会となつた。	他団体が主催するイベントにも積極的に参加し、理解啓発の機会を増やすことが課題である。	111,358	○
茨城県	○	×	身体障害者補助犬について、県広報誌への掲載を行った	県民に対する身体障害者補助犬の啓発	補助犬に対する理解が深まったと好印象な意見があった	0	×
栃木県	○	○	民間企業へ補助犬ステッカーの配布	県民への補助犬に対する理解促進	興味関心がある人へは理解が深まるが、興味関心がない人まで理解を得ることは難しい。	0	×
群馬県	○	○	希望者、市町村、県の関係機関に送付	補助犬への理解促進		0	×
千葉県	○	○	郵便局へのポスターの掲示依頼	補助犬の受け入れ義務等の周知につながった	郵便局だけではなく、幅広い施設で周知・啓発を行う必要がある。	0	×
東京都	○	○	厚生労働省作成補助犬ステッカー・リーフレットの配布	補助犬に関する理解促進		0	×

神奈川県	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	県管轄の保健福祉事務所や希望のあった店舗等に対するステッカーやパンフレットの配布	補助犬と補助犬ユーザーへの正しい理解と協力	更なる普及啓発	0	<input checked="" type="checkbox"/>
新潟県	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	県民の制度への理解を促進するために、国・県等の作成したリーフレット等を配布(在庫にて対応)	3,500枚		0	<input checked="" type="checkbox"/>
石川県	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	学校等で講演する補助犬ユーザーに配布用のリーフレットを配布している	補助犬に対する理解が深まり、ユーザーの社会参加を促進する	特になし	0	<input checked="" type="checkbox"/>
長野県	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	希望者にステッカー、パンフレット等を配布する	補助犬に関する普及啓発		0	<input checked="" type="checkbox"/>
岐阜県	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	県内企業より、ほじよ犬ステッカーの配布希望(店舗入口での掲示)があったため配布を行った。	補助犬の受け入れについて周囲の理解を深め、普及啓発を図る。		0	<input checked="" type="checkbox"/>
愛知県	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	希望する施設等へのステッカー・リーフレットの配布や、商業施設でのポスター掲示。	県民への補助犬に関する理解促進。		0	<input checked="" type="checkbox"/>
京都府	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	希望者への配布	補助犬への理解促進		0	<input checked="" type="checkbox"/>
大阪府	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	希望する府内事業者等に厚生労働省リーフレット、ステッカーを配布。				<input checked="" type="checkbox"/>
大阪府	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	SDGs 関連イベント、府内スーパー・マーケット等でリーフレットを配布。				<input checked="" type="checkbox"/>
兵庫県	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	県内健康福祉事務所(保健所)を通じて管轄の飲食店、宿泊施設、医療機関等へ周知依頼			0	<input checked="" type="checkbox"/>
島根県	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	補助犬ステッカーの送付依頼を受け付けた施設等へ、ステッカーと共に厚	盲導犬の同伴、受け入れについての理解、協力の促進。	送付依頼がある施設は、ステッカーを利用し、受け入	0	<input checked="" type="checkbox"/>

			労省リーフレットと県で作成したパンフレットを同封して送付している。		れに理解があると把握できるが、県内全体においてはステッカーの利用や理解がどの程度浸透しているかの把握が困難。		
島根県	○	○	障害者週間に、配布を希望した県内市町村にリーフレットを送付。	市町村と県の連携を図りながら、盲導犬理解への共通理解へつながる。	市町村によって配布希望数にかなり差がある。	0	×
広島県	○	○	厚労省補助犬リーフレット、ステッカーを関係機関、あいサポート研修及び出前講座にて配布			0	×
山口県	○	○	県庁エントランスホールでのポスター等展示、リーフレット等の配布	補助犬の普及啓発		0	×
山口県	○	○	盲導犬使用者へステッカーやリーフレットの配布	使用者による普及啓発、受け入れ拒否時の説明		0	×
愛媛県	○	○	公共交通機関関係イベント等にて補助犬リーフレット等を配付	補助犬の周知や、公共機関、店舗利用に関する理解促進	年数件受け入れ拒否の情報が寄せられるため、今後とも継続して理解促進に努める	0	×
高知県	×	○	飲食店・観光施設等にリーフレット・補助犬ステッカーを配布	補助犬及び合理的配慮に関する普及啓発			×
大分県	○	○	希望者へ補助犬ステッカーの配布	補助犬の理解促進及び普及啓発	公共施設や病院など希望する施設が限られる	0	×
宮崎県	○	○	ユーザーによる自主啓発活動(学校訪問)での使用	児童・生徒の補助犬への理解・啓発が促進された。	ユーザーは引き続きリーフレットを活用し啓発活動に取り組みたいとのこと。	0	×

■広報誌等への記事掲載

都道府県	2023年度	2024年度	内容	取り組みの効果	課題	費用	補助金利用
千葉県	○	○	県SNSで補助犬についての情報を発信	補助犬に関する周知につながった	定期的な情報発信が必要。	0	×
神奈川県	○	○	毎日新聞に掲載	補助犬と補助犬ユーザーへの正しい理解と協力		0	×
新潟県	○	○	県の広報X(旧Twitter)で制度の周知	多くの県民に補助犬制度を知ってもらうきっかけとなることを期待している		0	×
兵庫県	○	○	県発信のメールマガジンや県内のラジオ局のラジオ放送にて補助犬受け入れについて啓発			0	×
島根県	○	○	新聞広告への掲載。	盲導犬の同伴、受け入れについての理解、協力の促進。	掲載回数が年一回のため、より掲載機会が増えると良い。	0	×
広島県	○	○	あいサポート企業・団体向けの広報誌 あいサポ通信に補助犬関連の記事を掲載			0	×
山口県	○	○	県広報(新聞広告、県政放送FM)での給付事業の周知	補助犬及び給付事業の周知		0	×
香川県	○	○	商工会連合会の広報誌への記事掲載	補助犬の理解促進・啓発	特になし	0	×
高知県	○	○	県が発行する「障害福祉のしおり」(冊子)に補助犬に関する説明を掲載	補助犬に関する普及啓発			×
高知県	×	○	テレビ・ラジオでのテロップ表示及び啓発文の読み上げを実施	補助犬及び合理的配慮に関する普及啓発			×

熊本県	○	○	県医師会発行の会報誌に「補助犬の普及啓発について」の原稿を掲載した。	補助犬の周知につながった。	掲載可能な広報誌等がほかになく、飲食店等への啓発が進んでいないこと。	0	×
-----	---	---	------------------------------------	---------------	------------------------------------	---	---

■その他

都道府県	2023年度	2024年度	内容	取り組みの効果	課題	費用	補助金利用
北海道	○	○	障がい者週間の普及啓発パネル展において普及啓発ブースの設置	来庁者へ補助犬法や補助犬の役割について広く周知することができた。		0	×
栃木県	○	○	県民への補助犬理解促進のため民間企業との定期的な情報発信コーナー等を利用。	県民への補助犬に対する理解促進	興味関心がある人へは理解が深まるが、興味関心がない人まで理解を得ることは難しい。	0	×
栃木県	○	○	訓練主催者が主催するイベントや情報等の広報協力	県民への補助犬に対する理解促進	興味関心がある人へは理解が深まるが、興味関心がない人まで理解を得ることは難しい。	0	×
栃木県	○	○	県民へ補助犬を理解してもらうために、県民の日に補助犬ブースを設置。	県民への補助犬に対する理解促進	興味関心がある人へは理解が深まるが、興味関心がない人まで理解を得ることは難しい。	0	×
群馬県	○	○	県公式 SNS での発信	補助犬への理解促進		0	×
神奈川県	○	○	訓練事業所と連携したリーフレットを作成、配布予定	補助犬と補助犬ユーザーへの正しい理解と協力		963,600	×

岐阜県	○	○	当課で作成している「障がい者福祉の手引」において、補助犬の貸与についてや、ほじよ犬マークを掲載し、障がいのある方や支援者等への配布を行った。	補助犬についての理解促進・普及啓発を図る。		0	×
静岡県	○	○	啓発パンフレットの配布、広報啓発活動の実施				○
愛知県	○	○	ショッピングモールで啓発イベントを開催し、体験歩行等を行った。	体験歩行や犬とのふれあいで、認知度は向上している。	実施できる時期が限られる。	236,000	○
愛知県	○	○	障害についての県民向け啓発イベントにおいて、盲導犬の紹介を行った。	県民への補助犬に関する理解促進。		2,055,900	×
大阪府	○	×	啓発用クリアファイル、ステッカーを作成し、公民連携等の取り組みで配布。			793,100 (啓発物品作成費用として)	×
大阪府	○	○	啓発用バナーロールを作成、啓発イベント時に設置。			113,080 (啓発物品作成費用として)	×
島根県	○	○	盲導犬がバスに乗った時の配慮についての電子公告を松江市営バス内に掲載。	バス利用者に対して盲導犬への配慮や理解の一助となる。	一定期間、限られた地域のみのため広告機会がもつと増えると良い。	150,000	○
島根県	○	○	図書館や障がい関係イベントの機会にリーフレットやパンフレットを設置。	一般市民へ向けた盲導犬理解の促進。		0	×
香川県	○	○	人権啓発行事である「じんけんフェスタ」において、盲導犬ユーザーや補助犬訓練所による説明やデモンストレーションを行う	補助犬の理解促進・啓発		50,000	○

熊本県	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	「くまもとハートウィーク」関連のイベント内で、熊本県立大学と協力をして盲導犬すごろく体験を行った。	盲導犬の周知につながった。	同様の場がほかにないこと。	0	×
宮崎県	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	障がい者週間にあわせた庁内でのリーフレットの展示	職員や県民に対し一定の理解が図られた。	啓発に関する広報を広く展開できると良い。	0	×

【ニーズならびに供給体制の把握事業】

2023 年度:把握事業実施		2024 年度:把握事業実施予定	
実施あり	36%(16)	実施あり	36%(16)
実施なし	64%(28)	実施なし	64%(28)

■市区町村に対して調査

都道府県	2023 年度	2024 年度	内容	課題	費用	補助金 利用
宮城県	○	○	市町村に対し身体障害者補助犬に関する県民からの相談の有無等の調査を実施。		0	×
山形県	○	○	管内市町村に対して、補助犬に関する相談や給付希望の状況について調査を実施	特になし	0	×
長野県	○	○	年2回、市町村に対し補助犬給付希望者の有無を調査		0	×

■障害者団体に対して調査

都道府県	2023 年度	2024 年度	内容	課題	費用	補助金 利用
新潟県	○	○	補助犬希望者の聞き取り調査		0	×
石川県	○	○	県内の補助犬利用者から補助犬希望者について情報提供を受けている	特になし	0	×

■訓練事業者に対して育成頭数の調査

都道府県	2023 年度	2024 年度	内容	課題	費用	補助金 利用
宮城県	○	○	訓練事業者に対し、身体障害者補助犬に関する県民からの相談の有無等の調査を実施。		0	×

秋田県	○	○	市町村を通じて翌年度補助犬給付希望者の有無を調査		0	×
新潟県	○	○	補助犬希望者の聞き取り調査		0	×
富山県	○	○	社会福祉法人富山県視覚障害者協会により補助犬希望者の有無等を把握	補助犬を利用しやすい環境の整備など	0	×
島根県	○	○	社会福祉法人島根ライトハウスに調査を委託している。(頭数、希望者の把握等)		0	×
山口県	○	○	県内の使用者の状況や新規の希望者の有無等を確認		0	×
熊本県	○	○	県内在住者の補助犬の使用状況等の確認	特になし	0	×
大分県	○	○	大分盲導犬協会、九州補助犬協会へ補助犬ユーザーの見込みを調査		0	×

■その他

都道府県	2023 年度	2024 年度	内容	課題	費用	補助金 利用
静岡県	○	○	補助犬希望者からの問合せ対応、利用者の状況把握(委託事業内で実施)			○
宮崎県	○	○	県内で稼働する補助犬について、稼働状況や引退時期等を訓練事業者やユーザーに調査	特になし	0	×

【連携体制の取り組み】

2023 年度:連携体制の取り組み実施	
実施あり	7%(3)
実施なし	93%(41)

2024 年度:連携体制の取り組み実施	
実施あり	7%(3)
実施なし	93%(41)

■その他

都道府県	2023 年度	2024 年度	内容	課題	費用	補助金 利用
広島県	○	○	ユーザーの会である広島ハーネスの会と定期的に情報共有等を行っている。		0	×
広島県	○	○	広島ハーネスの会、広島市、福山市、呉市へユーザー等から相談が寄せられる度に、県へ報告してもらい、県から各機関へ情報提供を行う体制を構築している。		0	×
山口県	○	○	山口県盲導犬使用者双葉の会との意見交換	受け入れ拒否		×

④相談・問い合わせ

12. 補助犬に関する相談内容の記録、保管について

記録・保管している	記録・保管していない
89%(39)	11%(5)

13. 2023年度の補助犬に関する相談・苦情等について

	相談・苦情があった	相談・苦情がなかった	回答なし
盲導犬	64%(28)	34%(15)	2%(1)
介助犬	14%(6)	82%(36)	5%(2)
聴導犬	9%(4)	89%(39)	2%(1)

13-1. 補助犬に関する問い合わせの項目と相談者について

*一部の自治体では、随時問い合わせを受け付けているが、詳細の件数は記録していない。(表にも反映していない)

1) 盲導犬

	補助犬使用者	補助犬希望者	障害者家族	訓練事業者	受入れ事業者	一般市民	その他	計
訓練事業者関連	0	32	0	1	0	1	0	34
資料請求	5	0	1	1	11	1	6	25
その他問合わせ	2	1	0	1	0	4	3	11
同伴拒否関連	44	0	0	6	0	1	3	54
その他苦情	3	0	0	0	0	1	1	5

2) 介助犬

	補助犬使用者	補助犬希望者	障害者家族	訓練事業者	受入れ事業者	一般市民	その他	計
訓練事業者関連	0	6	0	0	0	1	0	7
資料請求	0	0	0	0	0	0	0	0
その他問合わせ	0	0	0	1	0	1	0	2
同伴拒否関連	5	0	0	0	0	0	0	5
その他苦情	0	0	0	0	0	0	0	0

3)聴導犬

	補助犬 使用者	補助犬 希望者	障害者 家族	訓練 事業者	受入れ 事業者	一般市 民	その他	計
訓練事業者関連	0	3	0	0	0	0	0	3
資料請求	0	0	0	0	0	0	0	0
その他問合わせ	0	0	0	0	0	0	0	0
同伴拒否関連	0	0	1	0	0	0	4	5
その他苦情	0	0	0	0	0	0	0	0

13—2.相談の具体的な内容

1)盲導犬

■資料請求

内容	対応
補助犬ステッカー、リーフレット希望。	送付対応。
飲食店、食品衛生協会、書店より、補助犬ステッカー送付の要望があった	ご要望の枚数分、ステッカーを送付
補助犬リーフレットを送ってほしい	希望施設へリーフレットを送付した

■その他の問い合わせ

内容	対応
スポーツ施設より、全盲のランナーの方が盲導犬を連れて屋内の施設で走りたいとの申し出があり、どのようなことに気をつけると良いか、との問い合わせ。例えば事前に介助者の方に危険なところを確認していただくとか、場内アナウンスをしておくと良いかなど。	施設として危険なところや注意してもらいたいところがあれば事前に伝え、普通に受け入れてほしいと思うユーザーの方が多数なので、必要以上にアナウンスの必要はないが、他に施設を使われている方に「盲導犬ユーザーの方が使用されます」ぐらいのアナウンスをしていただくのが良いと思う、と回答。ただし、アナウンスをする際は、ユーザーの方に「アナウンスをする」といったことを初回利用時には伝えてほしいといったことも回答。
盲導犬の貸付相談(決定後、どの様な訓練があるのか)	貸与までの流れを説明
盲導犬の給付に関し、一般市民から問い合わせ(2件)	訓練施設や身体障害者補助犬育成事業の流れについて説明
公共施設での盲導犬の受け入れ方法についての相談	身体障害者補助犬法やユーザーによる衛生・行動管理について説明
県内のユーザー(県の給付事業を利用して盲導犬を給付したユーザー)が使用していた盲導犬が病気となったため、次年度訓練を早め(6月頃)に実施し、次の盲導犬をお渡ししたい。	相談があった時点で、次年度の給付について相談はない状況を伝え、募集期間を4月初めから6月とするので、委託契約は6月中旬が通常であると回答。※通常の流れとして、契約をしてから訓練に入る。
補助犬給付を受けるにはいつどのように申請するか	当年は給付者決定後であったため、次の募集が翌年度各市町において行う旨伝達

補助犬を使用したいと相談を受けているので、その方への説明のため、補助犬給付制度を知りたい。(県社会福祉協議会から⇒その他)	補助犬制度及び県の補助犬給付制度の詳細について説明した。
引退した補助犬の譲渡を行っている県内団体の連絡先を知りたい。(一般市民から)	訓練事業者の連絡先について、情報提供を行った。
補助犬の予防接種補助制度について詳細を知りたい。(補助犬の使用者から)	予防接種の補助を行っている県獣医師会を紹介した。
県内では具体的に補助犬制度をどのように周知しているのか教えて欲しい。(一般市民から)	県政広報番組、広報誌による取組について説明した。

■同伴の受け入れ拒否に関する対応や相談

【医療機関等】

内容	対応
医療機関での盲導犬の受け入れ拒否に関する相談	医療機関に対して聞き取りを行うとともに身体障害者補助犬法等について説明して理解を求めた
補助犬使用者による診療所での受け入れ拒否相談	当該施設の担当者に連絡し、事情・対応方針を聞き取りの上補助犬使用者に報告

【飲食店・小売店】

内容	対応
県内の飲食店において、盲導犬の受け入れ拒否事案があった。	訓練事業者より当該施設に対し補助犬の説明を行い、理解を得た。(県へは訓練事業者からの報告のみ)
飲食等への入店に際し、補助犬の同伴を拒否された。	店舗を直接訪問し、リーフレット等により補助犬法の趣旨を説明し、理解を求めた。
盲導犬ユーザーがレストランを予約していたが、「他のお客様の迷惑になる」、「アレルギーの方いるかもしれない」等との理由で、入店を断られてしまった。	お店に対し、盲導犬や身体障害者補助犬法の説明をし、盲導犬同伴の受け入れに向けた盲導犬ユーザーとの話し合いをするよう指導した。

飲食店での受け入れ拒否	日本盲導犬協会から飲食店へ、補助犬の受け入れについて説明した。
飲食店等での入店に際し、盲導犬を同伴することを拒否された	対象店舗等へ聞き取りを行い、身体障がい者補助犬について説明、補助犬の同伴に理解を求めた
飲食店での盲導犬の受け入れ拒否に関する相談	飲食店に対して聞き取りを行うとともに身体障害者補助犬法等について説明して理解を求めた
盲導犬ユーザーの方が、盲導犬を連れての食事の予約をしようとしたところ、断られた。	県担当者がその飲食店を訪問し、状況等を確認するとともに、法律の趣旨を説明するなどして理解を求めたところ納得いただいた。また、他の客にも補助犬同伴に対する理解が得られやすくするために出入口付近にステッカーを貼付していただいた。その後、盲導犬ユーザーの方はその飲食店を利用された。
補助犬使用者による靴販売店での受け入れ拒否相談	当該施設の担当者に連絡し、事情・対応方針を聞き取りの上補助犬使用者に報告
入店拒否があった。	店舗へ補助犬に関する説明と理解のお願い。

【レジャー施設、コンサートホール等】

内容	対応
盲導犬ユーザーがあるプールを初めて利用した際、担当者から「盲導犬は外で待たせるように」と言われ不愉快だった。このことを先方に伝えてほしい。	プールに架電し、盲導犬の待機場所をプール側から指定されてユーザーが不愉快に思ったこと、今後は盲導犬を管理しているユーザーと話合いで待機場所を決めるように伝えた。

【宿泊施設】

内容	対応
宿泊施設において、補助犬を連れての宿泊は不可と言われた。今後同様のことが起きないように啓発してほしい。	当該施設に連絡し、説明するとともに啓発資材を送付。(施設からは、従業員に教育すると回答があった。)
宿泊施設における盲導犬の受け入れ拒否について	当該施設(3か所)へ補助犬の受け入れ義務について説明した上、ホテル組合等の関係機関あて当該趣旨について通知した。

宿泊については拒否されなかつたが、朝食や夕食については利用の拒否を受けたとのこと。	補助犬ユーザーの受け入れ義務について再確認するとともに、日本盲導犬協会作成の事業所向けパンフレット等を郵送
宿泊施設への同伴拒否	事業者へ受入について説明し、理解を得た
温泉旅館を予約する際に、盲導犬同伴の旨を伝えたところ、10 件の旅館から断られた。	当該エリアの温泉旅館協同組合に電話で確認を行い、補助犬法の趣旨等を説明し、周知をお願いした。

【公共交通機関】

内容	対応
タクシーを利用したところ、タクシードライバーより「犬が嫌い」という理由で乗車中不快感を口に出された	日本盲導犬協会主催のタクシードライバー向けセミナーに案内を通知
タクシー事業所より、乗車時は盲導犬もケージに入れて乗車するよう説明された	対象事業者等へ聞き取りを行い、身体障がい者補助犬について説明、補助犬の同伴に理解を求めた

【公共施設・その他】

内容	対応
県の水泳場に水泳の練習のため介護者と訪れた視覚障害者が、次回は盲導犬と訪れる旨を伝えたところ、指定管理者の職員が「犬は施設の中に入れない」と回答した。	施設所有者である県から陳謝し、研修回数を増やしマニュアルを徹底するよう施設の指定管理者に指導した。 指定管理者は問い合わせ後すぐに、全職員を対象とした障害者の施設利用等に関する研修を実施。 さらに新入社員研修やその他社員の定期研修では、過去の事例として本件の内容を共有し対応方法について都度指導している。

2)介助犬

■介助犬同伴の受け入れ拒否に関する対応や相談

内容	対応
介助犬ユーザーが居酒屋を利用しようとしたところ、入店を断られてしまった。	お店としては、介助犬の同伴を可としていたが、店員への周知が徹底されていなかった。お店に補助犬の普及啓発物を送付し、社内研修等で使用、体制を整えるよう助言した。
介助犬ユーザーがレストランを予約していたが、「店内が狭く介助犬の同伴が難しい」との理由で、入店を断られてしまった。	お店に対し、身体障害者補助犬法の説明をし、介助犬同伴の受け入れに向けた介助犬ユーザーとの話し合いをするよう指導した。

■その他の問い合わせ

内容	対応
給付希望のご相談	県の給付詳細をご案内した。
介助犬の給付に関し、一般市民から問い合わせ	訓練施設や身体障害者補助犬育成事業の流れについて説明
介助犬の給付に関し、訓練事業者から問い合わせ	身体障害者補助犬育成事業の流れについて説明
介助犬の貸与を受けたい	委託団体を紹介

3)聴導犬

■聴導犬同伴の受け入れ拒否に関する対応や相談

内容	対応
県外からの聴導犬利用者が聴導犬同伴で飲食店を利用しようとしたところ、「保健所の指導で動物を入店させることができない」と断られた。	地区担当の保健所へ確認したところ、「厨房へ入れることは禁止しているが、客室までは禁止していない」とのことであったため、当該飲食店に趣旨を伝え、飲食店からも入店可能とするとの返事をいただいた。

14.補助犬窓口の存在、目的、業務内容に関する普及啓発活動の実施について

実施している	実施していない
77%(34)	23%(10)

具体的な普及啓発の実施方法

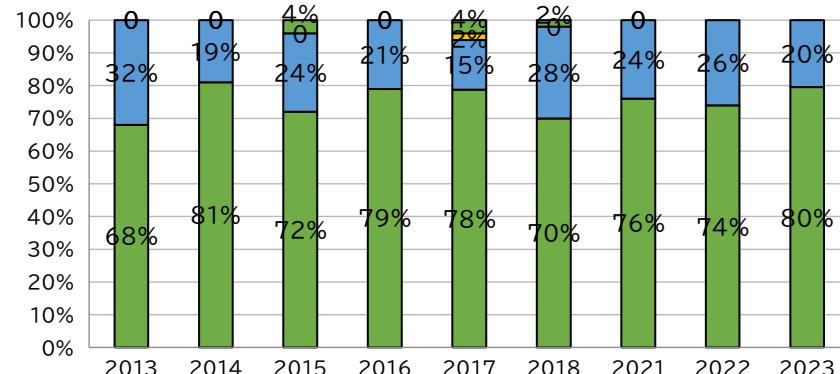
都道府県	内容
北海道	盲導犬・介助犬・聴導犬のそれぞれの役割と相談窓口の連作先等をホームページ上で周知。
青森県	県ホームページにおいて、補助犬に係る説明や使用方法等について紹介している。
宮城県	県のホームページで窓口等について紹介
秋田県	県公式ウェブサイトに掲載
福島県	県障がい福祉課のホームページにて、補助犬相談窓口について掲載している。
栃木県	ホームページ上に掲載
群馬県	県 WEB サイトで紹介
埼玉県	県 HP で窓口について紹介している
千葉県	県ホームページで相談窓口について紹介している。
東京都	都ホームページに掲載
神奈川県	県HPで紹介している。
新潟県	県のホームページ、県作成のリーフレットで補助犬の相談窓口について紹介している。
富山県	県ホームページによる周知
石川県	・課の HP に窓口について記載している ・県民の集まるイベント等、様々な機会を活用して普及啓発を行っている。
福井県	県ホームページにおいて、同伴受け入れに関することや相談窓口を掲載
山梨県	Web サイトで窓口について紹介している
長野県	補助犬給付時、県ホームページ、福祉のしおり(県が作成する福祉施策パンフレット)等において周知している。
岐阜県	当課で作成している「障がい者福祉の手引」において、当課を問合せ先として紹介している。
静岡県	障害福祉のしおり、静岡県補助犬支援センターHP において相談窓口の案内をおこなっている。
愛知県	県のホームページに紹介している。
滋賀県	県ホームページに記載している。
京都府	厚労省・京都府 WEB サイト
大阪府	府 Web サイトや講演等で窓口について紹介。
兵庫県	県のホームページや広報誌で窓口について紹介している。
奈良県	補助犬相談窓口として明記していないが、障害者相談窓口として、案内している。
島根県	県ホームページへの掲載、広報誌や新聞広告への掲載。
広島県	広島県 HP に情報を掲載している。
山口県	県のホームページで補助犬の同伴や相談窓口を紹介している。また、身体障害者／知的障害者相談員研修会において補助犬の同伴や相談窓口について説明した。

徳島県	県ホームページ
愛媛県	県 HP を通じて紹介している。
高知県	福祉機器展、障害に関する理解啓発イベント、県 HP への掲載等で普及啓発を行っている。 (リーフレット・ステッカーの配布、盲導犬の体験歩行、介助犬のデモンストレーション等)
佐賀県	県 HP にて紹介している。
大分県	障がい者福祉のしおりにて補助犬の貸与や相談に関する窓口紹介
鹿児島県	県ホームページや広報誌等で相談窓口を掲載し、普及啓発を図っている。

図1 盲導犬・介助犬・聴導犬 過去10年間に関する希望相談の有無:都道府県(2013~2023年度)

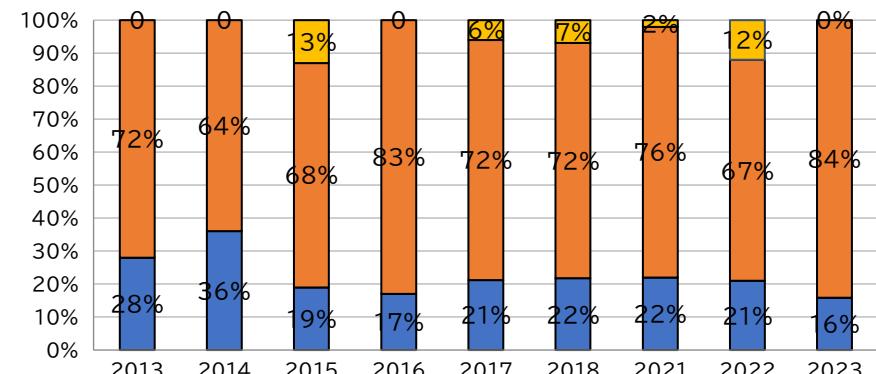
*2019~2020年はcovid-19の影響により調査休止

盲導犬過去10年間の相談希望の有無



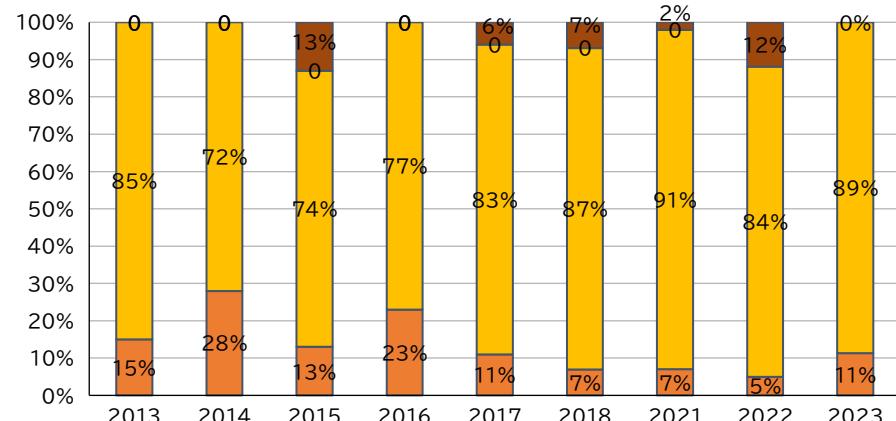
■あり □なし □その他 ■無回答

介助犬過去10年間の相談希望の有無



■あり □なし □その他 ■無回答

聴導犬過去10年間の相談希望の有無



■あり □なし □その他 ■無回答

図2 2023年度 身体障害者補助犬育成補助事業助成金

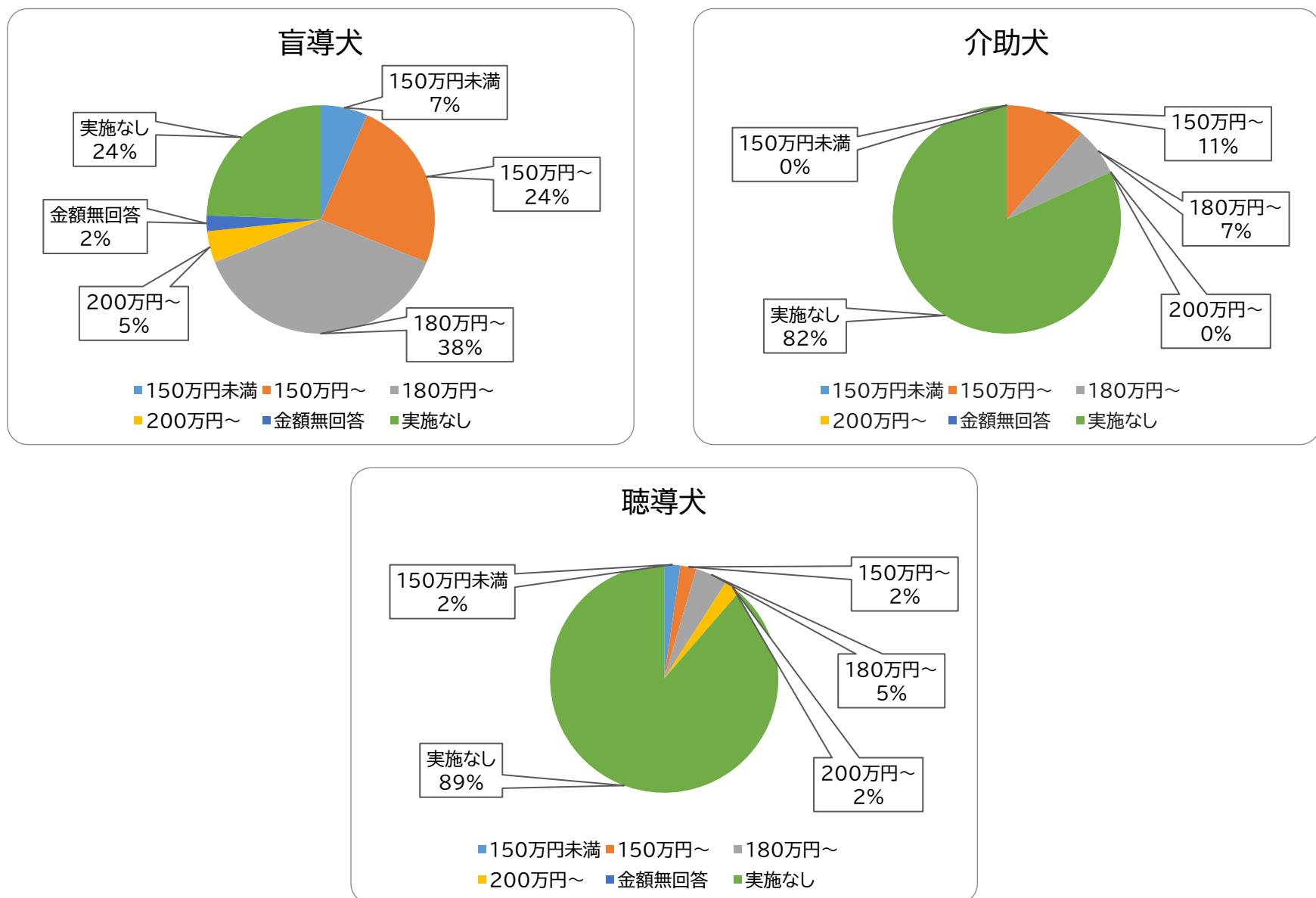


図3 2011～2023年度の補助犬育成補助事業実施件数

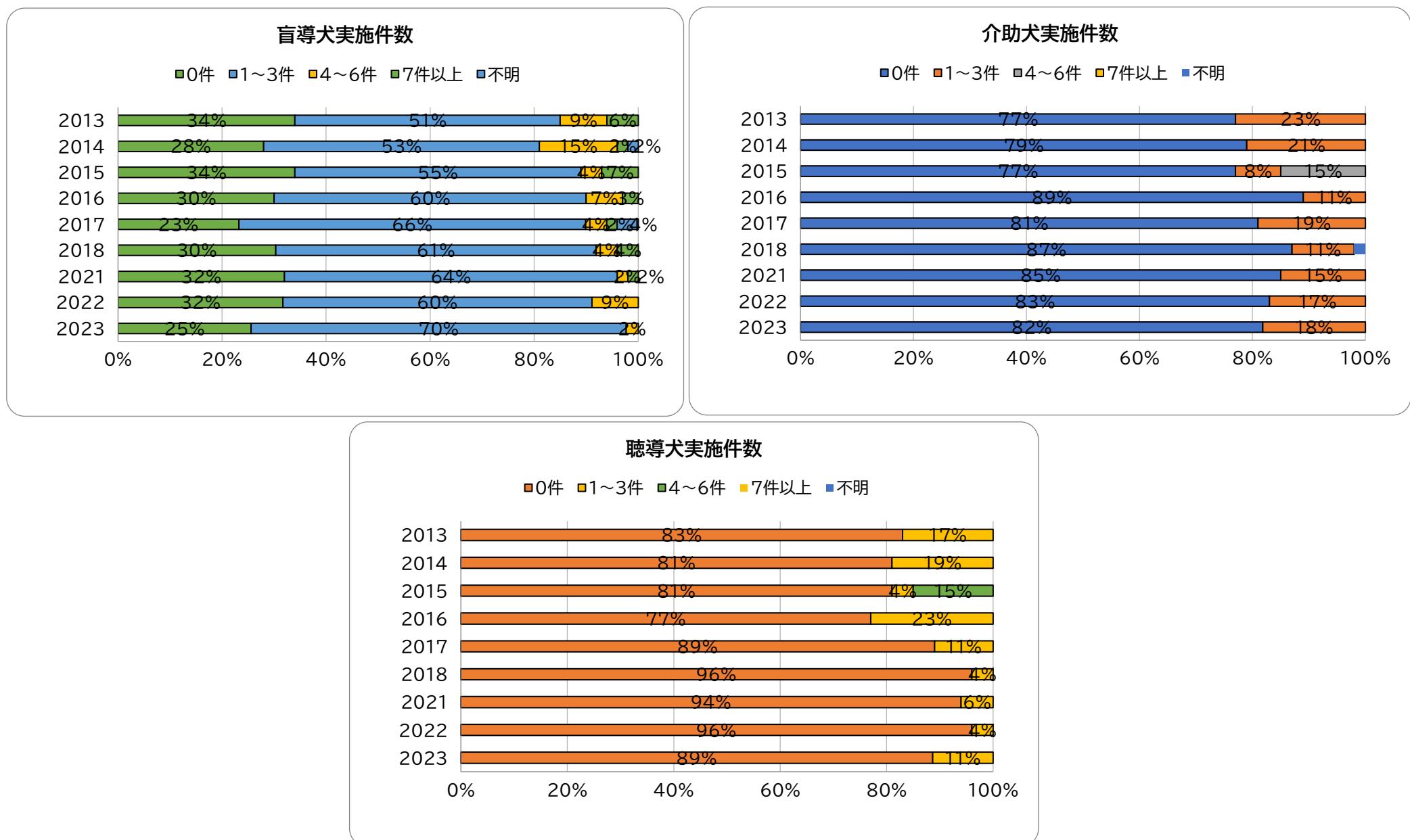


図4 2024年度の補助犬育成事業の実施予定

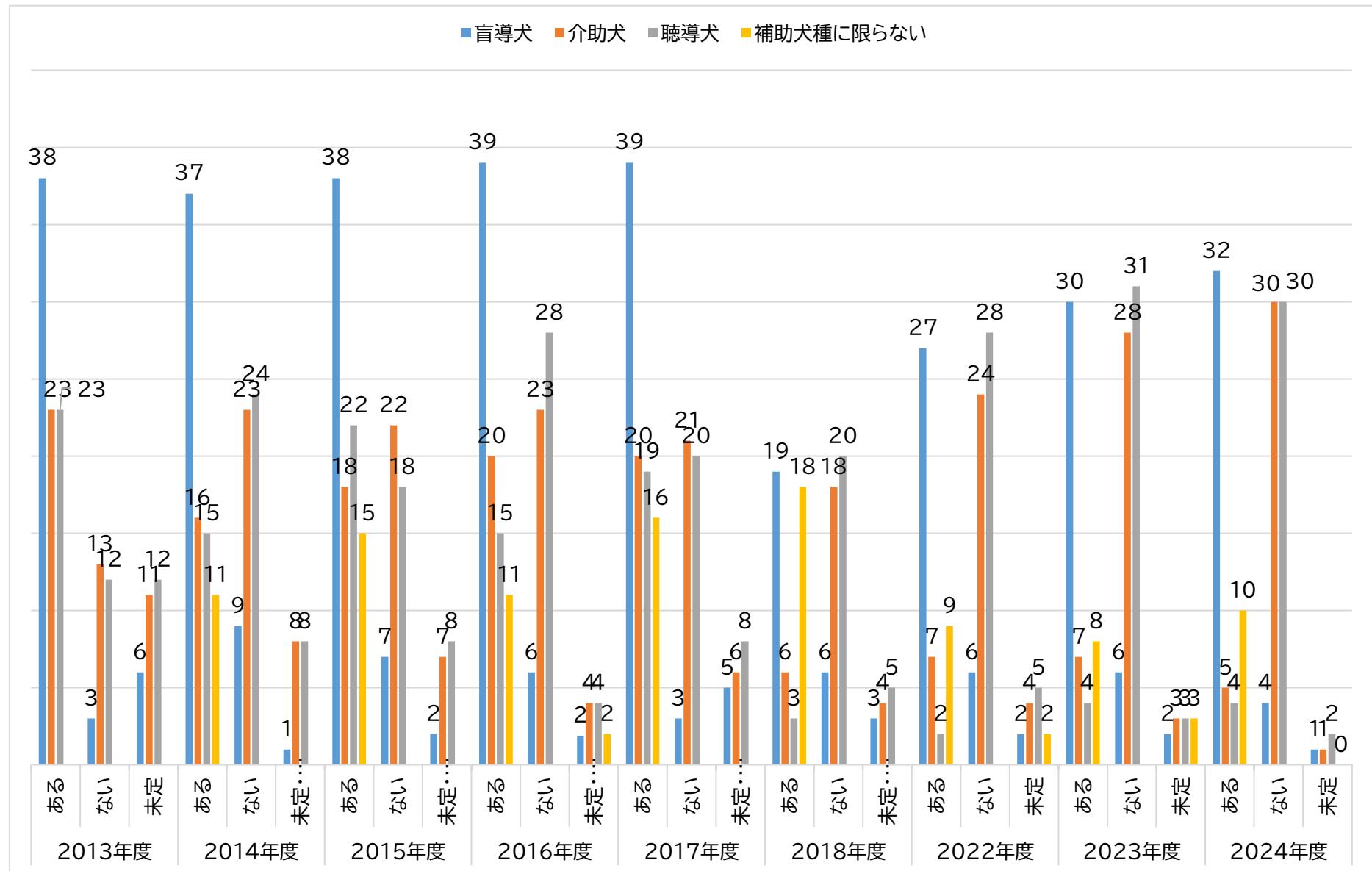


表1 第二種社会福祉事業としての補助犬訓練事業届出状況

	盲導犬		介助犬		聴導犬	
	事業者名	届出日	事業者名	届出日	事業者名	届出日
北海道	(公財)北海道盲導犬協会	H13.4.1				
青森						
岩手						
宮城	(公財)日本盲導犬協会仙台訓練センター	H21.7.17				
秋田						
山形						
福島						
茨城	(一財)全国盲導犬協会	不明				
栃木	(公財)東日本盲導犬協会	H5.5.12				
群馬						
埼玉					(公社)日本聴導犬推進協会	H27.5.29
千葉			(社福)千葉県身体障害者福祉事業団	H17.4.15	館山総合訓練センター	
			千葉介助犬協会			
			館山総合訓練センター			
東京	(公財)アイメイト協会				(社福)日本聴導犬協会 東京支部	不明
神奈川	(公財)日本盲導犬神奈川訓練センター		横浜市総合リハビリテーションセンター	H15.5.6	神奈川介助犬聴導犬協会	H15.4.1
	(公財)日本補助犬協会横浜訓練センター		(公財)日本補助犬協会	H15.8.4		
	横浜市総合リハビリテーションセンター		(社福)日本介助犬協会	H15.8.25	横浜市総合リハビリテーションセンター	H15.5.6
			(社福)アジアワーキングドッグサポート協会	H15.9.29	(社福)アジアワーキングドッグサポート協会	H15.9.29
			神奈川介助犬聴導犬協会	H16.4.1	(公財)日本補助犬協会	H16.1.28
新潟						
富山						
石川						
福井						
山梨						
長野			(社福)日本聴導犬協会	H15.9.8	(社福)日本聴導犬協会	H15.9.8
岐阜			(特非)日本動物介護センター	H22.9.16		
静岡	(公財)日本盲導犬協会	H18.10.1				
愛知	(社福)中部盲導犬協会	不明	介助犬総合訓練センターシンシアの丘	H21.3.26		
			(社福)名古屋市総合リハビリテーション事業団	不明	(社福)名古屋市総合リハビリテーション事業団	不明
三重						
滋賀					滋賀県聴覚障害者福祉協会	H27.3.11
京都	(公財)関西盲導犬協会	S.62.4.28	(特非)京都ケアドッグステーション	H16.1.9	(特非)京都ケアドッグステーション	H16.1.9
			京都介助犬聴導犬トレーニングセンター	H16.10.21	京都介助犬聴導犬トレーニングセンター	H16.10.21
			京都アシスタントドッグ育成協会	H18.9.28		
大阪	(社福)日本ライトハウス	H.13.4.2				
兵庫	(社福)兵庫盲導犬協会	不明	(社福)兵庫県社会福祉事業団	不明	(社福)兵庫県社会福祉事業団	不明
			(社福)兵庫盲導犬協会	不明	(社福)兵庫盲導犬協会	不明
			(特非)兵庫介助犬協会	不明		
奈良			日本サポートドッグ協会	H15.11.21	日本サポートドッグ協会	H15.11.21
			(特非)近畿介助犬協会	不明		
和歌山						
鳥取						
島根	(公財)日本盲導犬協会島根あさひ訓練センター	H20.10.1				
岡山						
広島						
山口			ドッグスクールSue	H30.1.31		
徳島					(特非)ボランティアドッグ育成センター	H16.4.1
香川						
愛媛			ドッグフォーライフジャパン	H24.10.1	ドッグフォーライフジャパン	H24.10.1
高知						
福岡	(公財)九州盲導犬協会	H21.10.30	(特非)九州補助犬協会	H18.9.22	(特非)九州補助犬協会	H18.9.22
佐賀						
長崎						
熊本						
大分						
宮崎						
鹿児島						
沖縄						

表2 2023年度 補助犬育成事業実施件数・助成額(都道府県別)

	盲導犬			介助犬			聴導犬		
	実施有無	件数	助成額	実施有無	件数	助成額	実施有無	件数	助成額
北海道	○	2	1,800,000	×			×		
青森県	×			×			×		
岩手県	○	1	1,500,000	×			×		
宮城県	○	2	回答無	×			×		
秋田県	○	1	1,890,000	○	1	1,500,000	×		
山形県	○	1	1,830,000	×			×		
福島県	○	1	1,500,000	×			×		
茨城県	○	1	2,022,000	×			○	1	2,022,000
栃木県	○	1	1,600,000	×			×		
群馬県	×			×			×		
埼玉県	○	5	1,984,500	×			×		
千葉県	○	1	1,984,500	○	1	1,984,500	×		
東京都	○	8	1,984,500	○	1	1,984,500	○	1	1,984,500
神奈川県	○	3	1,910,800	○	1	1,650,000	○	1	1,470,000
新潟県	○	1	1,800,000	×			○	1	1,800,000
富山県	×			×			×		
石川県	×			×			×		
福井県	×			×			×		
山梨県	○	2	1,500,000	×			×		
長野県	○	3	1,980,000	×			×		
岐阜県	○	2	1,500,000	×			×		
静岡県	○	2	1,984,500	○	1	1,984,500	×		
愛知県	○	3	1,500,000	○	1	1,500,000	×		
三重県	-			-			-		
滋賀県	○	1	1,500,000	×			○	2	1,500,000
京都府	○	2	1,500,000	×			×		
大阪府	○	3	1,661,000	○	1	1,661,000	×		
兵庫県	○	2	1,890,000	×			×		
奈良県	×			×			×		
和歌山県	×			×			×		
鳥取県	×			×			×		
島根県	○	1	1,980,000	×			×		
岡山県	-			-			-		
広島県	○	1	1,980,000	×			×		
山口県	○	1	1,500,000	×			×		
徳島県	○	1	1,980,000	×			×		
香川県	○	1	1,980,000	×			×		
愛媛県	○	1	1,980,000	×			×		
高知県	×			×			×		
福岡県	○	2	1,500,000	○	1	1,500,000	×		
佐賀県	×			×			×		
長崎県	○	1	1,200,000	×			×		
熊本県	○	1	1,200,000	×			×		
大分県	○	1	1,890,000	×			×		
宮崎県	○	1	2,045,000	×			×		
鹿児島県	×			×			×		
沖縄県	-			-			-		
実施合計	33県／60件			8県／8件			5県／6件		

表3 2024年度 補助犬育成補助事業 実施予定件数・助成額(都道府県別)

	補助犬種類に限らず		盲導犬		介助犬		聴導犬	
	予定	助成額	予定有無	助成額	予定有無	助成額	予定有無	助成額
北海道	○	1,800,000						
青森県			○	2,038,000	×	-	×	-
岩手県			○	1,500,000	×	-	×	-
宮城県			○	未定	×	-	×	-
秋田県			○	1,890,000	×	-	×	-
山形県			×	-	×	-	×	-
福島県			○	1,500,000	×	-	×	-
茨城県			○	2,022,000	×	-	×	-
栃木県			○	1,600,000	×	-	×	-
群馬県			○	1,782,000	×	-	×	-
埼玉県			○	1,984,500	○	1,501,500	×	-
千葉県	○	1,984,500						
東京都			○	2,683,000	○	2,683,000	○	2,683,000
神奈川県			○	1,986,800	○	1,716,000	○	1,528,800
新潟県			○	1,800,000	×	-	○	1,800,000
富山県			○	600,000	×	-	×	-
石川県			○	1,890,000	×	-	×	-
福井県			×	-	×	-	×	-
山梨県			○	1,500,000	×	-	×	-
長野県	○	1,980,000	○	1,980,000	×	-	×	-
岐阜県			○	1,500,000	×	-	×	-
静岡県			○	1,984,500	×	-	○	1,984,500
愛知県			○	1,500,000	△	1,500,000	△	1,500,000
三重県								
滋賀県	○	1,500,000						
京都府			○	1,500,000	×	-	×	-
大阪府	○	1,661,000						
兵庫県			○	1,890,000	×	-	×	-
奈良県			○	1,890,000	×	-	×	-
和歌山県			×	-	×	-	×	-
鳥取県			○	1,980,000	×	-	×	-
島根県			○	1,980,000	×	-	×	-
岡山県								
広島県			○	1,980,000	×	-	×	-
山口県	○	1,500,000						
徳島県	○	1,980,000						
香川県			○	1,980,000	×	-	×	-
愛媛県			○	1,980,000	×	-	×	-
高知県	○	無記入	○	2,079,000	×	-	×	-
福岡県	○	1,500,000						
佐賀県			×	-	×	-	×	-
長崎県			△	0	○	1,200,000	△	0
熊本県			○	1,200,000	×	-	×	-
大分県			○	1,890,000	○	1,890,000	×	-
宮崎県			○	2,045,000	×	-	×	-
鹿児島県	○	1,944,000	○	1,944,000				
沖縄県								

表4 2023年度 都道府県における補助犬育成補助事業の助成金交付先について

	盲導犬		介助犬		聴導犬	
	指定事業者	委託団体	指定事業者	委託団体	指定事業者	委託団体
北海道						
青森						
岩手						
宮城						
秋田						
山形		案件ごとに、給付実績や希望者の意向等を総合的に勘案して決定。		案件ごとに、給付実績や希望者の意向等を総合的に勘案して決定。		案件ごとに、給付実績や希望者の意向等を総合的に勘案して決定。
福島						
茨城						
栃木						
群馬						
埼玉						
千葉						
東京						
神奈川						
新潟						
富山	社会福祉法人富山県視覚障害者協会					
石川						
福井						
山梨						
長野						
岐阜						
静岡						
愛知						
三重						
滋賀						
京都	指定訓練事業者		指定訓練事業者		指定訓練事業者	
大阪						
兵庫						
奈良						
和歌山						
鳥取	日本ライトハウス					
島根	社会福祉法人島根ライトハウス					
岡山						
広島	委託：社会参加推進センター 再委託：広島ハーネスの会 広島県視覚障害者団体連合会		委託：社会参加推進センター 再委託：広島ハーネスの会 広島県視覚障害者団体連合会		委託：社会参加推進センター 再委託：広島ハーネスの会 広島県視覚障害者団体連合会	
山口						
徳島	公益財団法人徳島の盲導犬を育てる会		介助犬訓練事業者		聴導犬訓練事業者	
香川	申請があった際に指定するため、現時点では未定		申請があった際に指定するため、現時点では未定		申請があった際に指定するため、現時点では未定	
愛媛						
高知						
福岡						
佐賀						
長崎						
熊本						
大分	大分盲導犬協会		九州補助犬協会		九州補助犬協会	
宮崎						
鹿児島						
沖縄						

表5 2023年度 助成候補者の決定にかかる調査と評価について

	調査実施	都道府県 主体	委託している事業者名	件数	費用	補助金 利用	評価実施	都道府県 主体	事業者名	件数	費用	補助金 利用
北海道	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
青森	○	○	-	-	-	-	×	-	-	-	-	-
岩手	○	○	-	-	-	-	×	-	-	-	-	-
宮城	×	-	-	-	-	-	回答無	-	-	-	-	-
秋田	○	○	-	-	-	-	○	-	県が委託した訓練事業者	0	0	×
山形	○	○	-	-	-	-	×	-	-	-	-	-
福島	○	○	-	-	-	-	○	-	公益財団法人日本盲導犬協会	1	0	○
茨城	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
栃木	○	○	-	-	-	-	○	-	希望者が選んだ訓練事業者に 委託	1	0	×
群馬	○	○	-	-	-	-	○	-	回答無	0	0	回答無
埼玉	○	○	-	-	-	-	○	-	希望者が選んだ訓練事業者	5	0	○
千葉	○	○	-	-	-	-	○	-	回答無	3	150,000	○
東京	○	○	-	-	-	-	○	-	申請者が希望する訓練事業者	10	19,845,000	○
神奈川	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
新潟	○	○	-	-	-	-	×	-	-	-	-	-
富山	○	-	社会福祉法人 富山県視覚障害者協会	0	0	回答無	×	-	-	-	-	-
石川	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
福井	×	-	-	-	-	-	×	-	-	-	-	-
山梨	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
長野	○	○	-	-	-	-	○	-	希望者が選んだ訓練事業者	3	5,940,000	○
岐阜	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
静岡	○	○	-	-	-	-	×	-	-	-	-	-
愛知	×	-	-	-	-	-	×	-	-	-	-	-
三重												
滋賀	○	○	-	-	-	-	×	-	-	-	-	-
京都	○	-	回答無	2	3,000,000	○	○	-	貸与を行う犬の育成及び訓練 を行う事業者	2	3,000,000	○
大阪	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
兵庫	○	○	-	-	-	-	○	-	回答無	2	0	回答無
奈良	○	○	-	-	-	-	×	-	-	-	-	-
和歌山	○	○	-	-	-	-	○	-	申請者が希望する訓練事業者	0	0	回答無
鳥取	○	-	日本ライトハウス	0	0	×	○	-	日本ライトハウス	0	0	×
島根	○	-	社会福祉法人島根ライトハウス	11	0	×	○	-	社会福祉法人島根ライトハウス	0	0	回答無
岡山												
広島	○	-	委託:社会参加推進センター 再委託:広島ハーネスの会 広島県視覚障害者団体連合会	2	1,980,000円 に含む	○	○	-	委託:社会参加推進センター 再委託:広島ハーネスの会 広島県視覚障害者団体連合会	2	1,980,000円 に含む	○
山口	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
徳島	○	○	-	-	-	-	○	委託してい 公益財団法人徳島の盲導犬を 育てる会	1	0	×	
香川	×	-	-	-	-	-	○	委託してい 申請があつた際に指定するた め、現時点では未定	1	なし	×	
愛媛	○	○	-	-	-	-	回答無	-	-	-	-	-
高知	○	○	-	-	-	-	○	○	0	0	0	0
福岡	×	-	-	-	-	-	×	-	-	-	-	-
佐賀	○	○	-	-	-	-	○	-	回答無	0	0	回答無
長崎	○	○	-	-	-	-	×	-	(公財)九州盲導犬協会	0	0	×
熊本	○	*1	-	-	-	-	○	*2	-	-	-	-
大分	×	-	大分盲導犬協会 九州補助犬協会	0	0	×	○	-	大分盲導犬協会 九州補助犬協会	0	0	×
宮崎	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
鹿児島	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
沖縄												

*1 市町村が実施している。

*2 福祉事務所(市を含む)で実施している。

2023年度 補助犬の同伴受入れ状況等に対する実態調査結果

【調査票送付:政令市・中核市 80市町村;回答総数:67市町村】

(*千葉市は千葉県に、補助犬事業を統合したため回答はなし。回答総数にも含めない。)

■ 基本データ

1. 第二種社会福祉事業届出の増減

①2023年度中の新規届出について

2023年度中の新規届出なし

②2023年度中の届出取り消しについて

2023年度中の取り消し手続きなし

■ 育成促進事業

2. 政令市・中核市内における補助犬使用者数(2024年3月31日現在)

【政令市】

	いる	いない	不明	回答無
盲導犬	67%(12)	0%(0)	33%(6)	0%(0)
介助犬	28%(5)	22%(4)	44%(8)	6%(1)
聴導犬	17%(3)	33%(6)	44%(8)	6%(1)

【中核市】

	いる	いない	不明	回答無
盲導犬	69%(34)	4%(2)	27%(13)	0%(0)
介助犬	16%(8)	37%(18)	45%(22)	2%(1)
聴導犬	4%(2)	47%(23)	47%(23)	2%(1)

3. 2023年度中の補助犬の希望者について

【政令市】

	希望あり	希望なし	回答無	合計
盲導犬	28%(5)	56%(10)	17%(3)	18市
介助犬	6%(1)	78%(14)	17%(3)	18市
聴導犬	11%(1)	72%(13)	17%(3)	18市

【中核市】

	希望あり	希望なし	合計
盲導犬	18%(9)	82%(40)	49市
介助犬	2%(1)	98%(48)	49市
聴導犬	2%(1)	98%(48)	49市

理解促進・普及啓発

4.補助犬法や補助犬に関する取り組み(助成施昨、理解促進・啓発、身体障害者補助犬育成計画の作成等)の実施や実施予定について。また、その取り組みに関する具体的な内容や、およその費用、「身体障害者補助犬育成促進事業」(地域生活支援事業)の補助金利用に関する都道府県との連携について。

【助成施策】

○政令市

2023 年度:助成施策の実施	
実施あり	44%(8)
実施なし	56%(10)

2024 年度:助成施策の実施予定	
実施予定あり	50%(9)
実施予定なし	50%(9)

○中核市

2023 年度:助成施策の実施	
実施あり	24%(12)
実施なし	76%(37)

2024 年度:助成施策の実施予定	
実施予定あり	24%(12)
実施予定なし	76%(37)

■補助犬の健康管理費(予防接種、医療費など)

市町村	2023 年度	2024 年度	内容	課題	費用	補助 金 利 用
札幌市	○	○	身体障害者補助犬について、狂犬病手数料のうち、登録手数料(3,200 円)及び注射済票交付手数料(700 円)を免除	特になし	43,400	×
仙台市	○	○	飼料代を年間 42,000 円まで補助。		326,736	×
横浜市	○	○	身体障害者補助犬定期検診等助成事業(補助犬の定期検診、疾病にかかる診療費を助成)	医療費の増による、事業の持続性について	5,000,000	×
川崎市	×	○	一定の要件を満たす補助犬ユーザーに対し、健康管理費を年間最大6万円支給する。	対象者への周知方法	676,000 (予算額)	○

新潟市	○	○	登録手数料、狂犬病予防注射済票交付手数料、鑑札の再交付手数料、狂犬病予防注射済票再交付手数料(R5 年度は、狂犬病予防注射済票交付手数料@550 円×盲導犬 11 件)		6,050	×
名古屋市	○	○	身体障害者手帳1級から3級の方で、日常生活補助のために使用する補助犬及び盲導犬として育成している犬に係る次の手数料の免除 登録申請手数料(3,000 円)、狂犬病予防注射済票交付手数料(550 円)、鑑札の再交付手数料(1,600 円)及び狂犬病予防注射済票交付手数料(340 円)			×
神戸市	○	○	補助犬の健康管理を図るために必要な健康診断、予防接種、治療等に充てる経費を補助(所得制限あり) ※月額 3,600 円～7,000 円		498,400	×
広島市	○	○	低所得のため、補助犬の養育に要する費用の負担が困難な者に対して、健康管理費としてその一部を支給する。	なし	5000 円/月	×
富山市	○	○	狂犬病予防接種済票交付手数料(550円)及び犬の登録手数料(3,000円)の免除			○
岐阜市	○	○	身体障害者補助犬の狂犬病予防接種にかかる注射済票交付手数料の免除	特になし。	550	×
尼崎市	○	○	狂犬病予防法に基づく予防注射済票交付手数料の減免(R6 年度は、7 頭@550円)	特になし	3,850	×
呉市	○	○	市内居住する、補助犬を使用し、かつ養育する者を対象に、補助犬の健康管理に要する費用の一部を給付する。		住民税課税世帯 5,000 円/月 非課税世帯 4,000 円/月	×

■飼育のための必要経費(餌など)

市町村	2023 年度	2024 年度	内容	課題	費用	補助金 利用
名古屋市	○	○	身体障害者補助犬飼育費補助事業(4,900 円/月)		828,742	
岡山市	○	○	補助犬ユーザーに対し飼育費の助成		6,000 円/月	○
長野市	○	○	補助犬の飼育費(月額 3,000 円)		108,000	×
岐阜市	○	○	身体障害者補助犬の飼育のために必要な経費の一部を助成する	特になし	1頭 4,800 円/月	×
豊橋市	○	○	犬登録手数料減免(登録手数料 3,000 円)及び狂犬病予防接種済票手数料減免(550 円) →R5 実績は登録 0 件、注射済票 3 件	特になし	0	×

■その他

市町村	2023 年度	2024 年度	内容	課題	費用	補助金 利用
相模原市	○	○	手数料の免除・犬の登録・犬の狂犬病予防注射済票の交付		2023 年度 該当なし	×
神戸市	○	○	犬の登録手数料(3,000 円)の免除、狂犬病予防注射済票交付手数料(550 円)の減免			×
富山市	○	○	身体障害者補助犬の貸与を受けた者に、貸与に際して発生した自己負担額の一部(2分の1、上限5万円)を補助			○
福山市	○	○	犬の登録手数料、犬の狂犬病予防注射済票の交付手数料、犬の鑑札の再交付手数料、犬の狂犬病予防注射済票の再交付手数料の減免	特になし	なし	×
大分市	○	○	盲導犬の貸与を受けるために、盲導犬訓練センターで、訓練を行う視覚障がい者のセンターまでの往復の交通費助成		50,000 (予定)	×

【理解促進】

○政令市

2023 年度:理解促進事業の実施	
実施あり	22%(4)
実施なし	78%(14)

2024 年度:理解促進事業の実施の予定	
実施あり	22%(4)
実施なし	72%(14)

○中核市

2023 年度:理解促進事業の実施	
実施あり	16%(8)
実施なし	84%(41)

2024 年度:理解促進事業の実施の予定	
実施予定あり	14%(7)
実施予定なし	86%(42)

■市町村担当者向け

市町村	2023 年度	2024 年度	内容	取り組みの 効果	課題	費用	補助金 利用
浜松市	○	○	障害者差別解消法等研修の 1 講義として『窓口における補助犬対応と体験学習』	盲導犬ユーザーである視覚障がいのある人に対する適切な対応を知つもらう。	ユーザー数が少ないため、関心を持つ人が少ない。	上記に含む (啓発活動も含む)	○
名古屋市	○	×	商店街にて補助犬受入れ拒否の事例を踏まえ、商店街に説明会を実施	補助犬に対する理解の向上	大きな商店街であるため、すべての店に理解してもらうことは難しい	0	×
前橋市	○	○	・補助犬担当が日本盲導犬協会主催のオンラインセミナー受講・新規採用職員研修の差別解消法講座で補助犬について説明	補助犬に関する知識を広げるとともに、受け入れ拒否時の対応や相談に対応できるようになった。新規採用職員が補助犬の基本的な知識を得られている		0	×

豊橋市	○	○	職員向けの障害者差別解消法の研修内で、盲導犬についての紹介	市職員の盲導犬に対する理解を深めることができた。	特になし	0	×
吳市	○	×	国立リハビリテーションセンター学院主催の身体障害者補助犬訓練者等研修会【行政担当者向けコース】(オンライン)への参加		・未だなくならない同伴拒否などのトラブル ・理解促進のための市民、事業者に対する効果的な周知案内方法	5,300	×
松山市	○	○	職員向けの障害者差別解消法の研修の中で、補助犬についても紹介している。	補助犬ユーザーが窓口へ来られた時の適切な対応につながる。	研修の対象者が全職員ではないため、より幅広く周知することが必要である。	0	×

■受け入れ事業者向け

市町村	2023 年度	2024 年度	内容	取り組みの 効果	課題	費用	補助金 利用
前橋市	○	○	日本盲導犬協会主催オンラインセミナーのチラシ配布・ウェブでのお知らせ配信		参加事業者の把握ができない	0	×

■一般市民向け

市町村	2023 年度	2024 年度	内容	取り組みの 効果	課題	費用	補助金 利用
川崎市	○	○	障害者週間イベントにおける訓練事業者による盲導犬周知コーナーの出展協力依頼	一般市民への補助犬に関する周知		0	×
浜松市	○	○	補助犬についての啓発セミナー	市民に対し、補助犬を知ってもらうきっかけとなる。	補助犬のユーザーに関心を持ってくれている人は少	228,800	○

					ない。		
金沢市	○	○	イベント等に補助犬を伴った障害のある方を招き、積極的な周知・啓発を図る	参加者に対して理解を広めることができた		107,000	○
高知市	○	○	一般の方向け盲導犬教室参加人数 45名 ・午前の部 29人 ・午後の部 16人	一般の方向け盲導犬教室では、盲導犬の仕事や訓練の様子の話と訓練士が訓練犬に指示を出して盲導犬の動きなどを見ていただくことで参加者の理解を深めた。	盲導犬貸与の希望申込をしても、3年以上待っている方もおり、盲導犬の不足が課題である。		

■児童・生徒向け

市町村	2023 年度	2024 年度	内容	取り組みの 効果	課題	費用	補助金 利用
前橋市	○	○	前橋社協による福祉教室で補助犬講座			0	×

■障害当事者向け

市町村	2023 年度	2024 年度	内容	取り組みの 効果	課題	費用	補助金 利用
高知市	○	○	視覚障害者向け盲導犬体験歩行申込 9人	当事者向けの盲導犬体験歩行はオーテピア周辺を盲導犬と訓練士と一緒にあるくことで、盲導犬の理解を深めていただき盲導犬ユーザーという選択肢を広げていただく機会とした。	盲導犬貸与の希望申込をしても、3年以上待っている方もおり、盲導犬の不足が課題である。		

■その他

市町村	2023 年度	2024 年度	内容	取り組みの 効果	課題	費用	補助金 利用
八戸市	○	×	市施設ボランティアガイド対象の研修	盲導犬使用者への理解促進	なし	50000	×

【啓発事業】

○政令市

2023 年度:啓発活動事業の実施	
実施あり	72%(13)
実施なし	28%(5)

2024 年度:啓発活動事業の実施予定	
実施あり	67%(12)
実施なし	33%(6)

○中核市

2023 年度:啓発活動事業の実施	
実施あり	57%(28)
実施なし	43%(21)

2024 年度:啓発活動事業の実施予定	
実施予定あり	57%(28)
実施予定なし	43%(21)

■補助犬啓発用のウェブサイト掲載

市町村	2023 年度	2024 年度	内容	取り組みの 効果	課題	費用	補助金 利用
前橋市	○	○	・市フェイスブックで補助犬への理解促進記事掲載・前橋社協主催の小学校向け講座を市ユーチューブで配信 ・市ホームページに補助犬のページを開設			0	×
富山市	○	○	市ホームページに身体障害者補助犬に関する周知広報を掲載。	身体障害者補助犬の理解・啓発			×
豊中市	○	○	令和4年度に補助犬啓発イベントを実施する際啓発ページを作成	不明	個別の問合せ実績はない	0	×
吹田市	○	○	市ウェブサイトに補助犬受け入れマニュアル等を掲載				×
八尾市	○	○	本市のホームページに補助犬啓発に関する情報を掲載している。	不明	啓発効果の検証が困難である。	0	×
尼崎市	○	○	本市のホームページにて「身体障害者	市民等への周知啓発を行うことが	特になし	0	×

			補助犬について」ページで紹介。	できた。			
高松市	○	○	市HPへの掲載 市施設及び希望者へのステッカー配布			0	×
松山市	○	○	身体障害者補助犬法の施行に伴い、市のホームページでも補助犬の説明やステッカーの配布について紹介している。	民間事業所等でも補助犬の受け入れが義務化されている点について、一定の周知ができている。	さらに周知の機会を増やし、市民の方へ補助犬の受け入れについて理解を進めていくことが重要である。	0	×

■厚生労働省リーフレット等の配布

市町村	2023 年度	2024 年度	内容	取り組みの 効果	課題	費用	補助金 利用
川崎市	○	○	補助犬同伴ステッカーやパンフレットの配布	補助犬同伴に関する周知	更なる普及啓発	0	×
相模原市	○	○	食品衛生責任者実務講習会で、補助犬リーフレットを配布	不明	特になし	なし	×
名古屋市	○	○	商業施設にて補助犬リーフレットとシールを配布	補助犬に対する理解の向上	複数の店舗がある施設のため、すべての店に理解してもらうことは難しい。	0	×
大阪市	○	○	障がい福祉課にてリーフレット等を配架している。また、2023年度は区役所へリーフレットを送付し、配架を依頼した。				×
神戸市	○	○	区役所窓口における厚生労働省作成のステッカー・リーフレット配布	市民への補助犬の周知・啓発		2,798,750	○
広島市	○	○	希望のあった企業や医療機関、団体に対しステッカーやリーフレットの配付。				

盛岡市	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	窓口にてパンフレット配布	利用希望者からの問い合わせ		0	×
秋田市	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	公共施設や希望者に厚労省のほじよ 犬ステッカーやパンフレットを配布	補助犬に対する理解促進			×
前橋市	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	障害福祉課窓口での配布や他部署と 連携事業者や医療機関等へ配布	事業者へ補助犬の周知につながつ た、育成団体のチラシを置くこと で、障害当事者への周知につなが つた		0	×
川口市	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	理解促進のため補助犬同伴ステッカ ーを市役所入口に貼ったり、窓口にて ポスターや普及啓発パンフレットの配 布を行った。	直接、市民の方々から何かご意見 をいただくことはないが、パンフレ ットは手に取ってもらうことができ ています。	事業者に対してどのように理解を得て いくかが重 要で、普及啓発の方法が簡 単ではないと感じ る。	0	×
越谷市	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	越谷市内郵便局にリーフレット、シー ルを配布、市防災訓練にリーフレット 配布予定	市民に周知が図れる	なし	0	×
横須賀 市	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	イベントで啓発用のパンフレットの配 布・商業施設等への補助犬ステッカー の配布	補助犬について興味・関心を持っ てもらえる機会を作ることができ た。		0	×
豊橋市	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	補助犬リーフレット、盲導犬協会の冊 子等を障害福祉課窓口で配布	市民に対して、補助犬に係る情報 を周知した。	特になし	0	×
八尾市	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	補助犬に関するリーフレット等を配架 している。	不明	啓発効果の検証が困難で ある。	0	×
熊本市	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	補助犬同伴ステッカー及びリーフレッ トの窓口設置	市民の目に触れる機会を作り、理 解啓発に繋げた。	民間におけるリーフレット 設置場所の検討	0	×

■広報誌への記事掲載

市町村	2023 年度	2024 年度	内容	取り組みの 効果	課題	費用	補助金 利用
さいたま市	○	○	市の広報誌に補助犬についての記事を掲載				×
新潟市	○	○	障がい者週間に合わせて、補助犬の受け入れについて市報等に記事を掲載				×
八戸市	○	○	・HPへの掲載・窓口におけるステッカー及び資料の配布	ほじょ犬に対する理解の促進	宿泊施設における補助犬受入れ義務の周知の徹底(以下IVに記載)	0	×
水戸市	○	○	市の広報誌に掲載し、市民の方への理解と啓発を図る。	取り組みの理解と周知			×
前橋市	○	○	市広報誌「広報まえばし」への記事掲載			0	×
富山市	○	×	障害者差別解消法に関する周知広報として「ほじょ犬マーク」について市広報に掲載。	「ほじょ犬マーク」の理解・啓発	(補足)2024 年度は障害者差別解消法改正に特化し掲載しため、「ほじょ犬マーク」の掲載なし		×
長野市	○	○	「長野市障害福祉サービスガイド」にほじょ犬マークを掲載			1,295,294	×
八尾市	○	○	大阪府の補助犬使用者募集の記事を掲載している。	不明	啓発効果の検証が困難である。	0	×
尼崎市	○	○	県の補助犬貸付事業が、市を通して申請することとなっているため、市の広報にも掲載し、呼びかけ。	市民等への周知啓発を行うことができた。	特になし	0	×
尼崎市	○	○	補助犬同伴ステッカーや啓発リーフレットの配布。ポスターやステッカーの	市民等への周知啓発を行うことができた。	特になし	0	×

			市庁舎(出先含む)や関連機関での掲示など。				
松江市	○	○	・市報掲載・窓口でのリーフレット配布	補助犬についての理解促進		0	×
福山市	○	○	広報誌へ盲導犬給付事業についての記事を掲載	特になし	特になし	特になし	×
鹿児島市	○	○	補助犬に対しての理解促進のために市の広報誌に啓発記事を掲載。	市民の人たちに補助犬への理解が広がると考えている。	周知できる層に限りがある。	0	×

■その他

市町村	2023 年度	2024 年度	内容	取り組みの 効果	課題	費用	補助金 利用
横浜市	○	○	障害者週間イベントでの補助犬理解啓発コンテンツの実施、飲食店向け啓発チラシの作成				
大阪市	○	○	障がい者週間の期間中、補助犬に関するパネル展示を行っている。				×
神戸市	○	○	障害特性や障害のある方への支援方法等の理解促進に向けた市民向け講座(障がいサポートー養成講座)の開催(補助犬に係る内容を含む)	市民への補助犬の周知・啓発		0	
神戸市	○	○	福祉関連のイベントでの啓発パネル展示	市民への補助犬の周知・啓発		0	
神戸市	○	○	視覚障害者に対するコミュニケーションの取り方の説明や、PR 犬によるデモンストレーションを行う学生向け講座の開催	市民への補助犬の周知・啓発		1,720,000	○
前橋市	○	○	障害福祉啓発イベント「みんなのフェスタ」での盲導犬体験コーナー	一般市民や障害当事者、他障害者にも実際に体験することで理解が深まる	障害当事者へのイベント周知が難しい	0	×
川口市	○	×	埼玉県視覚障害者福祉協会の方々と、川口駅前にて駅を利用している白杖や盲導犬を連れている方への「声掛け推進運動」を行った。	盲導犬 3~4 頭、スタッフ 20 名程度で 500 部のチラシを配布。一時間ほどで配り終える。駅利用者の理解促進が図れた。	チラシの作成にはコストがかかる。(今回のチラシ作成については埼玉県視覚障害者福祉会が負担)配布する人手の確保も必要。定期的に行う方がより関心	0	×

					を集めやすい。		
長野市	○	○	本庁窓口にポスター掲示、支所にステッカー貼付			0	×
豊中市	○	○	民間事業者とともに盲導犬啓発イベントを実施	盲導犬の理解促進と募金をすることで費用面の支援も行うことができた。	理解が不足する介助犬、聴導犬も含めた啓発が必要だと考えている。	9,620	×
吹田市	○	○	ガンバ大阪 SDGs マッチでの盲導犬啓発	盲導犬体験による視覚障がい者への理解増進	特になし	10,000	×
松江市	○	○	・市民向け出前講座での紹介	補助犬についての理解促進		0	×
吳市	○	×	市広報テレビ番組で、入店拒否などの差別、障害者補助犬法、盲導犬を連れた視覚障害者の信号機横断する際の支援方法を伝える内容の放送		放送時間が短い(内容が伝わる放送になるかどうか)	0	×
大分市	○	○	九州盲導犬協会の依頼に基づき、「道の駅のつはる」に募金箱を設置	補助犬の理解への周知活動の一助となる			×
鹿児島市	○	○	補助犬に対しての理解促進のためにポスター掲示や「補助犬ステッカー」の貼り付け依頼を行った。	市民や職員に周知を行うことで、理解が広がると考えている。	周知できる層に限りがある。	0	×

【ニーズならびに供給体制の把握事業】

○政令市

2023 年度:ニーズ並びに供給体制の把握事業実施	
実施あり	6%(1)
実施なし	94%(17)

2024 年度:ニーズ並びに供給体制の把握事業実施予定	
実施予定あり	6%(1)
実施予定なし	94%(17)

○中核市

2023 年度:ニーズ並びに供給体制の把握事業実施	
実施あり	2%(1)
実施なし	98%(48)

2024 年度:ニーズ並びに供給体制の把握事業実施予定	
実施予定あり	2%(1)
実施予定なし	98%(48)

■市町村に対して調査

市町村	2023 年度	2024 年度	内容	課題	費用	補助金 利用
前橋市	○	○	群馬県と情報共有	貸与に関する周知が十分でない	0	×

■訓練事業者に対して調査

市町村	2023 年度	2024 年度	内容	課題	費用	補助金 利用
前橋市	○	○	訓練事業者発行の冊子にて育成数等把握	貸与に関する周知が十分でない	0	×

■その他

市町村	2023 年度	2024 年度	内容	課題	費用	補助金 利用
名古屋市	○	○	名古屋市総合リハビリテーションセンターに 介助犬、聴導犬の使用を希望する方を対象と した相談窓口を設置している。(認定相談事 業)		516,000	×

【連携体制の取り組み】

○政令市

2023 年度:連携体制の取り組み実施	
実施あり	0%(0)
実施なし	100%(18)

2024 年度:連携体制の取り組み実施予定	
実施予定あり	0%(0)
実施予定なし	100%(18)

○中核市

2023 年度:連携体制の取り組み実施	
実施あり	8%(4)
実施なし	92%(45)

2024 年度:連携体制の取り組み実施予定	
実施予定あり	8%(4)
実施予定なし	92%(45)

■基幹相談支援センター

市町村	2023 年度	2024 年度	内容	課題	費用	補助金 利用
前橋市	○	○	補助犬に関する苦情・相談等について情報共有		0	×

■相談支援事業者

市町村	2023 年度	2024 年度	内容	課題	費用	補助金 利用
前橋市	○	○	補助犬の貸与等について説明するとともに、訓練事業者作成の冊子を配布		0	×

■その他

市町村	2023 年度	2024 年度	内容	課題	費用	補助金 利用
福島市	○	○	県補助制度を利用している盲導犬利用者への連絡および情報提供の依頼	特になし	0	×
前橋市	○	○	貸与や受け入れ拒否に関する相談・情報共有		0	×

相談・問い合わせ

5.補助犬に関する相談内容の記録、保管について

○政令市

記録・保管している	記録・保管していない
89%(16)	11%(2)

○中核市

記録・保管している	記録・保管していない
65%(31)	35%(17)

6.2023年度の補助犬に関する相談・苦情について

○政令市

	相談・苦情があった	相談・苦情がなかった	回答無
盲導犬	61%(11)	33%(6)	6%(1)
介助犬	11%(2)	83%(15)	6%(1)
聴導犬	22%(4)	72%(13)	6%(1)

○中核市

	相談・苦情があった	相談・苦情がなかった	回答無
盲導犬	18%(9)	76%(37)	6%(3)
介助犬	0%(0)	94%(46)	6%(3)
聴導犬	2%(1)	90%(44)	8%(4)

*一部の自治体については、相談内容を「記録・保管していない」ため、この項目についての回答はなし。ただし、「記録・保管していない」と回答した自治体でも、この設問に回答している場合は、その通り計上した。

7—1.補助犬に関する問い合わせの項目と相談者について(政令市・中核市合計)

1)盲導犬

	補助犬使用者	補助犬希望者	障害者家族	訓練事業者	受入れ事業者	一般市民	その他	計
訓練事業者関連	1	1	0	0	0	0	0	2
資料請求	0	0	0	0	1	0	0	1
その他問合わせ	36	5	0	0	0	1	1	43
同伴拒否関連	21	0	0	1	1	0	3	26
その他苦情	1	0	0	0	0	0	0	1

2)介助犬

	補助犬 使用者	補助犬 希望者	障害者 家族	訓練 事業者	受入れ 事業者	一般 市民	その他	計
訓練事業者関連	0	0	0	0	0	0	0	0
資料請求	0	0	0	0	0	0	0	0
その他問合わせ	7	0	0	0	0	0	2	9
同伴拒否関連	0	0	0	0	0	0	0	0
その他苦情	0	0	0	0	0	0	0	0

3)聴導犬

	補助犬 使用者	補助犬 希望者	障害者 家族	訓練 事業者	受入れ 事業者	一般 市民	その他	計
訓練事業者関連	0	0	0	0	0	0	0	0
資料請求	0	0	0	0	0	0	1	1
その他問合わせ	4	1	2	0	0	0	0	7
同伴拒否関連	2	0	0	0	0	0	0	2
その他苦情	0	0	0	0	0	0	0	0

7—2.相談の具体的な内容

1)盲導犬

■資料請求

内容	対応
(飲食店)受け入れステッカー、資料の請求	飲食店から、受け入れステッカーの送付の依頼を受けたので、厚労省の飲食店向けマニュアル等のご案内もして一式を送付した。

■その他の問い合わせ

内容	対応
医療費助成について	補助犬として稼働するための手術費用が、助成対象となるかどうかのご相談。
宅配サービス業者の補助犬に対する理解不足について	「補助犬」というより犬についての対応の問題ではあったが、本社に連絡をし、この機会に補助犬について広く社内に周知することをお願いして対応終了。
タクシー運転手の対応について	対応について行政からはしなくてもよいとのご希望だったので、お話を伺いして終了。
バス停にバスが停車する際に、アナウンスがなかったため、乗車するべき路線かどうか判断できなかった。	市から運行会社に問い合わせ内容を共有。バス会社から本人宛に対応策(会社内で補助犬に関する周知を行う等)の説明と謝罪を行った。
盲導犬ユーザーと盲導犬への全般的な正しい接し方についての相談	盲導犬が仕事中の際には温かく見守ってもらい、何か対応が必要と思われる時は人側から援助の必要の有無について確認してもらうなどを説明し、理解を促した。
商業施設に対する啓発活動	運営会社へ連絡をし、補助犬法の説明及びほじょ犬ステッカーの紹介を行う。
盲導犬の利用を希望する際の手続き等	府の担当をご案内。
盲導犬の引退時期が近いので、新しい盲導犬を手配してほしい。	県と盲導犬協会へ連絡し、給付決定を受けた。
盲導犬を利用したい。	案内はしたが、申請なし。

盲導犬貸与に関する相談	県の盲導犬担当者へ連絡いただくよう伝えた
盲導犬代替申請について	県の盲導犬担当者へ連絡いただくよう伝えた

■同伴の受け入れ拒否に関する対応や相談

【医療機関、老人保健施設等】

内容	対応
医院における受け入れ拒否	医院に対し確認をしたところ、受付にて誤解を招くような説明があったことが原因であり、補助犬は通常受け入れているとのことだったので、特段の働きかけには至らなかった
デイサービスで盲導犬を部屋に入れてはいけないと言われ、犬が一匹で外で待たされかわいそう。	仲介し、デイサービスの席配置等を変え、部屋へ入れるようにした。

【飲食店】

内容	対応
盲導犬を同伴して入店しようとしたところ、若い店員が入店拒否をしたと相談有。	不慣れな外国籍の店員が店長に(入店させて良いか)確認したが、入店拒否などは行っていない。後日、店長より全従業員に補助犬についてLINEで周知をした。当課より引き続き周知を依頼した。
盲導犬を同伴して入店しようとしたところ、店員が入店拒否をしたと相談有。	入店拒否するつもりはなく、店長や本部に確認しようとしたところ相談者が怒ったとのこと。当課より、ガイドブック、リーフレット(数枚)、ステッカーを渡して制度説明を行い、店長から従業員に周知するように伝えた。
飲食店へ補助犬同伴での入店が可能か尋ねたところ、補助犬対応はしていないという理由で拒否された	当該飲食店に補助犬制度について説明するとともに、厚労省が発行する補助犬のリーフレットを送付。他店舗も含めて社内で共有し、今後の受入について検討するという返答を得た。
飲食店における受け入れ拒否	現在対応中
飲食店での受け入れ拒否について	個人店、チェーン店ともに受入拒否の相談があった。どちらにも連絡しご理解をいただいた。後日、飲食店向けマニュアル等の送付を行った。

市内飲食店における受け入れ拒否	該当飲食店へ法律等の周知
飲食店にて受け入れを拒否された。	飲食店に説明し、受け入れを要請。
盲導犬を連れてラーメン店を訪れたところ、入店拒否された。市からも指導してほしい。	当方からラーメン店へ確認をとったところ、店員は普通の犬と勘違いし入店を断ってしまったとのこと。補助犬パンフレットを渡して、今後は注意するよう依頼した。
パン屋への入店拒否	店舗に説明し理解を求めた。店舗も認識不足を認め、以後このようなことのないように従業員にも徹底すること。

【宿泊施設】

内容	対応
市内宿泊施設における受け入れ拒否	該当施設へ法律等の周知

【その他】(公共交通機関等)

内容	対応
日本盲導犬協会の方より、盲導犬利用者から店舗への入店拒否、タクシー利用拒否があったと報告があったとの連絡があった。	店舗への入店拒否については、日本盲導犬協会から店舗へ連絡をし、対応済みであったが、タクシーの案件については、事業者がどこかも分かっておらず現状動いていないとのことだったので県乗用自動車協会、県個人タクシー協会に情報共有し、周知を依頼した。
店で盲導犬の受け入れ拒否にあった	該当の店に連絡し、盲導犬について説明後、リーフレットやシールを送付した。

■その他苦情等

内容	対応
飲食店経営者から、「盲導犬同伴の来店があったが、盲導犬の衛生状態が悪かったため、入店を断った。市でユーザーの把握・指導を行っているのか。」との問い合わせがあった。	県の補助犬給付事業の該当者のみ把握しており、全てのユーザーを把握することはできない旨説明した。

2)介助犬

■その他問い合わせ

内容	対応
身体に障害はなく精神のみの障害であるが介助犬のようなものの相談先はあるか？	補助犬法について説明およびセラピー犬について情報提供をし、まずは何に困っていてなぜ必要なのかを相談支援担当者含めて確認いただくようお伝えした。

3)聴導犬

■その他の問い合わせ

内容	対応
聴導犬の医療費について	病院に連絡し、ご本人の疑問について尋ね結果をお伝えした。その後のトラブルはなし。
聴覚障害だが聴導犬とはどのようなものか？入院中であるが今後について参考に知りたい。	聴導犬についての補助犬の制度について説明する。10年近く入院中（精神）のことなのでまずは今後の見通しや生活について主治医やMSWと相談するようお伝えした。
聴導犬を使用したいと考えているが相談にのってもらえるか？	生活保護受給中、ペットを複数飼育しており、飼育管理含めて生活保護CWとも相談するようお伝えした。
聴覚障害がある。自宅のチャイムの音を知らせてくれたり、癒しになればと思うがどのような制度か？	社会参加のための補助犬であることを説明。介護サービスの利用や福祉用具の活用など含めてまずはご検討されるようお伝えした。

■同伴の受け入れ拒否に関する対応や相談

内容	対応
日本聴導犬協会青森県広報支部長が来課「聴導犬使用者から、聴導犬同伴によるホテル宿泊を拒否されたとの相談を受け、当該ホテルには法について説明して宿泊を受け入れてもらえることになったが、当該ホテルを含めた宿泊施設に対し、法制度の理解を推進するための資料がほしい」との依頼あり	当課窓口において、ほじょ犬のリーフレットを必要枚数提供。なお、当該ホテルは市外のホテル
飲食店2店の利用に際し、補助犬同伴による入店を断られた。	店舗に連絡し、受け入れを拒まないように指導するとともに、補助犬同伴ステッカーと開発用パンフレットを郵送した。

8.補助犬窓口の存在、目的、業務内容に関する普及啓発活動の実施について

○政令市

実施している	実施していない
78%(14)	22%(4)

○中核市

実施している	実施していない
59%(29)	41%(20)

具体的な普及啓発の実施方法

【政令市】

市町村	内容
仙台市	市 HP で窓口について紹介している
さいたま市	市 Web サイトや広報誌に掲載。
横浜市	・Web サイトで窓口について紹介している。・医療証を送付する際に、送付文に相談窓口についての案内を盛り込んでいる。
相模原市	市で発行している「障害のある方のための福祉のしおり」に掲載
新潟市	市ホームページや市報に、補助犬の啓発及び補助犬同伴の受け入れについて理解を求める記事を掲載している。
静岡市	静岡市障害者協会(静岡市障害者基幹相談支援センター)のWebサイトや障害者相談のチラシで紹介している
浜松市	「障害者週間」啓発イベントでの、啓発セミナー
名古屋市	Web サイトに補助犬に関する情報を掲示している。
大阪市	ホームページ、障がい福祉制度紹介冊子への掲載により広報
堺市	障害のある方を対象に配布している「障害福祉のしおり」という各種制度や相談窓口等を掲載した冊子の中に問い合わせ先を記載している。
神戸市	市ホームページや、リーフレットでの神戸市障害者差別相談窓口(補助犬を含む)の普及啓発
北九州市	北九州市のホームページにおいて、補助犬についての説明と補助犬の受け入れについて記載している。
福岡市	Web サイトおよび「福岡市の障がい福祉ガイド」にて窓口について紹介している。
熊本市	ホームページによる紹介

【中核市】

市町村	内容
函館市	市作成の障がい福祉のしおりに掲載。
八戸市	市 HP に掲載

盛岡市	盛岡市ホームページ上に問い合わせの電話番号を掲載している。
秋田市	市のHPで窓口についての情報を掲載している。
郡山市	ウェブサイト等で補助犬について普及啓発及び問い合わせ窓口を公表している。
いわき市	市公式ホームページ上に掲載
水戸市	Web サイトで紹介している。
宇都宮市	サービスのしおりや広報誌、ポスターにて紹介している。
前橋市	市ホームページ、市広報誌に掲載
川口市	川口市障害福祉課のホームページにて「ほじょ犬マーク」についての普及啓発を行うとともに、厚生労働省のリンクを掲載し補助犬担当窓口の存在に関して案内している。
越谷市	越谷市障がい者福祉ガイド、越谷市HP等に掲載し窓口等で紹介している。
船橋市	市ホームページや広報誌にて、補助犬についての内容とともに問い合わせ先を掲載している。
八王子市	ホームページに問い合わせ先を掲載している。
富山市	市ホームページに掲載している。
金沢市	Web サイトで紹介している
福井市	市ホームページで紹介している
長野市	ホームページ上で掲載
豊田市	市ホームページへの掲載、当課窓口で配布する障がい福祉の制度案内の冊子にて紹介している。
岡崎市	市のホームページや、障がい者手帳取得者へお渡しする「障がい者のしおり」へ掲載し照会しております。
高槻市	市ホームページに「ほじょ犬について」を掲載、窓口でリーフレットを配布。
吹田市	市ウェブサイトへの掲載、リーフレットの配架
八尾市	本市のホームページで窓口について紹介している。
尼崎市	①本市のホームページにて「身体障害者補助犬について」ページを開設し紹介。②県の補助犬貸付事業が、市を通して申請することとなっているため、市の広報にも掲載し、呼びかけ。③補助犬同伴ステッカーや啓発リーフレットの配布。ポスター・ステッカーの市庁舎(出先含む)や関連機関での掲示など
和歌山市	和歌山市のホームページに掲載
倉敷市	障がい福祉課の窓口に厚生労働省作成のリーフレットを配置している
吳市	市ホームページや広報誌で紹介している
高松市	市 HP で窓口について掲載している
松山市	市のホームページ内で担当窓口を紹介している。
大分市	大分市ホームページに、補助犬相談窓口の設置について掲載している。また、リーフレットを窓口に設置している。

参考資料

各自治体に送付した調査票をご覧いただけます。

URL をクリックしてください。

■都道府県送付 2023 年度身体障害者補助犬育成促進事業等実施実態調査に関する調査票

[https://drive.google.com/file/d/1CERvluu4KdGfWksp6Rp05ubblkEb4lQs/view?
usp=sharing](https://drive.google.com/file/d/1CERvluu4KdGfWksp6Rp05ubblkEb4lQs/view?usp=sharing)

■政令市・中核市送付 身体障害者補助犬育成促進事業等実施実態調査

[https://drive.google.com/file/d/1WUTCH2vqnwWst3SOg3IDeNcR8KBGM4Lq/vie
w?usp=drive link](https://drive.google.com/file/d/1WUTCH2vqnwWst3SOg3IDeNcR8KBGM4Lq/view?usp=drive_link)



日本補助犬情報センター

JAPANESE SERVICE DOG RESOURCE CENTER

発行者 特定非営利活動法人 日本補助犬情報センター
Japanese service dog resource center
〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1688-1-203
TEL:045-275-7770 FAX:045-275-7771
e-mail:info@jsdrc.jp HP:<https://www.jsdrc.jp>
(禁無断転載・無断転用)